京城日報

十三日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金七拾錢(郵送料金)一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲三號活字の所指定一行金拾錢增 ▲六號活字一行は二號活字同樣 一行は五號活字同樣の事
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 登口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

◎上海の蹶起
陸海軍買收成功＝砲撃開始

某方面着電に曰く在上海革命黨は軍艦及び軍隊の買收に成功したれば愈々十二日夜蹶起し機器局及び呉淞の砲撃を開始したりと(東京特電)

◎浙江省の獨立宣言

上海來電に依れば浙江省は獨立を宣言せり(北京特電)

▲浙江獨立と上海動亂 浙江省は獨立を宣言し上海に潜入しつゝある岑春煊部下の革命黨動亂を起し碇泊中の支那軍艦は革命軍を援助しつゝあり(東京電報)

◎上海南京共に獨立か

北京政府は上海方面不穩の報に接し南京駐在の馮國璋に治安維持方を電訓せるも浙江省杭州府獨立宣言の結果人心の動搖甚しく馮將軍も四圍の狀勢に鑑み南京の獨立を策しつゝあるを以つて南京上海の兩地相次で獨立の宣布をなすべしと觀測せらる(東京電報)

◎南方政府組織交涉進捗

南方各省獨立軍の聯絡完成と共に南方政府組織に關する各省の交涉進捗し早晩之が實現を見るに至るべしと(東京電報)

◎支那政府の恐慌
日露協約說に就き眞否を確めんとす

日露間に近く調印さるべしとの說ある協約に就き支那政府の恐慌非常にして特に其の所謂第六條の日本に對し自由の權利を認め之れに對し第三國が防害を加へ日本之れに對抗するの必要を生じたる時は露國は日本の要求に應じ協同動作を取るべしとのことは支那の存亡に關する大問題として其の協約の眞否を確むる爲露國駐在支那公使に打電し且つ北京にても之れを確めんが爲奔走し居れり新聞紙も漸く之れに關し論戰を始めたり(北京特電)

◎海兵買收風說

孫逸仙氏は千五百萬圓の軍資にて日本豫備海兵五百名を買收せんとすとの風說あり其筋に於ては目下其眞相を調査中なり(東京電報)

◎米支借欵成立說

米支借欵二千萬弗成立し內金百萬弗を支那政府に交附されたりとの說あり(東京電報)

◎葡國內閣の辭職

リスボン來電に依れば葡萄牙內閣は首相と他の閣員との意見合はざる結果辭職せり(倫敦電報)

◎傭船取戻計畫

船腹不足の爲社外船中外國に雇傭せられ居るものを取戻しの計畫中なり(東京電報)

◎商船增配運動

大阪商船會社に於ける今期收益激增の結果株主側に配當增額運動起れり(大阪電報)

◎新設領事館開館期

赤峰洮南掏鹿通化海龍等滿蒙各地に於ける新設領事館の開館期切迫し不日各領事の任命發表せらるべし(東京電報)

◎兩長官親任式

會計檢査院長、行政裁判所長官親任陸格發表の結果十三日午前十時宮中御座所に於て大隈首相、鷹司侍從長參列左の通り親任式を行はせられたり(東京特電)

會計檢査院長官從二位勳一等 子爵 田尻稻次郎
任會計檢査院長
行政裁判所長官從三位勳一等 岡野敬次郎
任行政裁判所長官兼帝國大學法科大學教授

◎軍醫總監以下更迭

十三日森軍醫總監以下左の如く更迭ありたり(東京特電)

陸軍々醫總監醫學博士文學博士 森 林太郎
依願豫備役被仰付
陸軍々醫監從四位勳一等功四級 鶴田禎次郎
任陸軍々醫總監補陸軍省醫務局長
近衛師團軍醫部長陸軍々醫監從五位勳三等 寺西幸作
免本職補朝鮮駐劄軍々醫部長
朝鮮駐劄軍々醫部長陸軍々醫監正五位勳三等功四級 矢島柳三郎
免本職補第一師團軍醫部長

◎大分縣視察團

大分市商工會、實業懇親會、二十日會の三團體の發起により朝鮮視察團を組織されたる由なるが田中同縣內務部長以下知名の士約卅名は二等團體旅行にて來る十六日朝入港の連絡船にて着釜の上釜山市街龍頭山魚市場等を視察の上十二時半發にて東萊溫泉に赴き同所にて入浴清遊の上同夜十一時發にて京城に向ひ京仁、平壤、開城等にて商工視察し二十三日の歸途大邱より再び來釜同夜連絡船にて歸縣する豫定なりと(釜山特電)

◎鑛業出願と處分

新鑛業令實施後今日までに於ける鑛業出願數は六百件以上に達し昨今日々五六件の出願あり、四月一日中の出願は殆んどタングステン鑛なりしが近來は金鑛叔も多くタングステンは極めて罕なり、而して出願の處分に就きては目下當局に於て整理調査を急ぎ居れるが全部の査定を了るには尙ほ三箇月間を要す可く悉皆處分濟となるには大約六箇月を要すべし

◎餓洋橋の落成

慶北大邱慶州二等線の要路に當る琴湖江餓洋橋は愈々十二日盛大なる落成渡橋式を擧げたるが該橋は慶尙北道第一の橋なるのみならず人道架橋として全鮮にも多く見ざるものにて今工事の內容を聞くに本橋梁は延長四百五十四尺

地覆木內法幅十六尺全幅十八尺五寸右岸橋臺は鐵筋の關係上之を改築し橋脚工事は[illegible]洗め水中コンクリートを施行し鐵筋コンクリートと筑二本鐵ト四紐を[illegible]基礎工費其他[illegible]

而して鐵筋凝土橋脚は其耐久力に於て鐵材に匹敵するを以て木造上部工の改築を施すのみにて數十年の永きに堪ふ可き永久的施設なりとす上部工に於ても當初鐵材使用の筈なりしも歐洲戰亂により製鐵所製品の拂底を告げ是を遂行し能はざりしも橋梁として壯觀を極む(大邱)

◎浦鹽鰯の大輸入

十四日釜山に入港すべき大阪商船大智丸は城津及生鰯一千六百噸を滿載し釜山に陸揚する筈なるが從來鰯は朝鮮內地に於て需用されつゝある者は米國鰯と稱し(カナダ產)一箇四年十八萬餘圓の輸入を見朝鮮內にて漁獲せらるゝ者廿四萬餘圓を算し居りしが歐洲開戰以來船腹不足の結果運賃の高率に加へ米國航路とても鰯の如き容積を要し價額の低廉なるものは積載せざる結果種々の機能を來し浦鹽方面より輸入するに至る其年々比較は大正三年五千六百六十六圓同四年二千八十八圓なりしが本年の如きは一月以後四月十日頃迄に三千六百圓餘の輸入あり今又三千餘圓の輸入を見るに至る而して今未だ鰯漁は半にして斯の如き傾向を見るは釜山貿易の發展と云ふべし(釜山)

◎元山の挂燈浮標

遞信局にては元山築港工事の進捗に伴なひ長德島より東方に突出すべき防波堤豫定線の突端へ昨秋寺內總督の礎石を沈設したる位置に挂燈浮標を新設する事となりしが光力は浮動白色也

◎警務部長會同(第三日)

憲兵隊長警務部長會議第三日は十三日午前九時より總督府第二會議室に於て明石警務總長統裁の下に諮問事項の答申あり正午休憩の後午後一時より憲兵隊司令部會議室に再開各部長注意事項ありて午後三時散會

◎測量講習會

土地臺帳實施の道郡島書記に對する土地測量技術の講習會は大正三年來每年一回宛續行し來りたるが今年も前記臺帳を實施す可き京畿、忠淸南北、慶尙南北、全羅南北、平南、黃海各道內道郡島書記八十三名を召集し臨時土地調査局に於て十日より講習會を開催しつゝあるが荒井長官は十三日午後二時より會場に趣き講習會に對して一場の訓示をなせり、同講習會は每日午前九時開會午後四時閉會し其期間は三十日にして五月九日閉會の筈なり、因に之等講習員は歸任後專ら土地臺帳實施に地籍圖移動の整理事務に從事す可し

◎愛婦會役員會

愛國婦人會朝鮮本部にては十二日午後二時より本部事務所に於て役員會を開き石塚幹事以下各夫人役員參集、高田老師の講話を聽きたる後、協議會に移り左の數件を議了午後五時散會せり

一、愛國婦人會朝鮮本部に[illegible]
一、植垣夫人の送別會を催すこと
一、十七日以降軍隊大輸送に對し[illegible]
一、共進會協贊會用として調製したる記念手拭を[illegible]

◎平井支那顧問

支那鐵道顧問平井晴二郎博士は十四日釜山上陸十五日朝京城通過北京へ直行する豫定なり

◎小原少將出發

軍人後援會京城支部總會式參列の爲め入京中なりし小原陸軍少將は十二日夜發歸東せり

◎白水參謀長

軍參謀長白水陸軍少將は參謀長會議列席の爲め十五日午前八時四十分龍山發東上の筈なり

◎井出經理部長視察

駐劄軍經理部長井出治氏は平壤第卅九旅團長宿舍建築に就き視察の爲め十二日出發十五日歸任の筈

◎將校送迎宴

總督主催、軍司令官主催第九師團司令部要員及び第十九師團司令部要員歡迎の爲め同將校三百餘名を招待し寺內總督は廿二日井口軍司令官は其の前後適宜の日を選び盛宴を張る筈なりと

◎軍司令官邸招待會

井口軍司令官は十五日夜官邸に於て目下入京中なる各道警務部長を招待晚餐會を催す

◎吉野博士と釜山

帝國大學教授法學博士吉野作造氏は十二日午後七時高等女學校に於る本社主催の講演を終へ同七時五十分南大門驛發南行列車に搭乘出發したるが博士は途中釜山に立寄り同地にて一場の講演を試む可しと

◎鮮銀總裁歸期

勝田朝鮮銀行總裁は茲一兩日中に東京出發歸鮮の豫定なりと云へば多分十七日頃入京すべしと

◎朝商行員異動

朝鮮商業銀行南大門支店次席市川幸次郎氏全州農工銀行へ轉じたるに付今回同行は其筋の認可を得て左の如く行員の異動を行へり

命南大門支店在勤 本町支店在勤 中西晉作
命本町支店在勤 仁川支店在勤 藍田卓藏
命仁川支店在勤 本店書記 山口恒造

元山

▲鐵道貨物發送增加 客月中元山驛にて扱へる貨物の數量を見るに發送總量二千七百九十一噸到着總量二千五百四十八噸なりとす之れを前年同期に比較し發送に於て千六百四十三噸の增加したるは豐漁の結果明太魚等の輸送多きを加へたるに依る次に到着に於ては三百八十一噸の減少となれり尙ほ主なる發着貨物を擧ぐれば發送貨物明太魚四百八十八噸生鮮三百十六噸海藻百八十九噸到着貨物米七百七十八噸鹽六百三十五噸粟二百四十噸石炭百噸等なり▲佐藤參謀長視察 師團參謀長佐藤小次郎氏は隊務視察の爲め十一日夕列車にて著元せり▲內地人戶口數 元山に於ける三月末現在內地人戶口數の統計を見るに戶數一千八百九十一戶人口男三千五百四十九女三千三百七十九合計六千九百二十八人なり▲入江少佐歸任期 元山守備隊長入江少佐は昨冬以來步兵學校に入學中なりしが既に三月末を以て同校を卒業したるに依り來る十五日頃歸任の筈▲高女教諭著任 奈良市立實科高等女學校教諭たりし北原千鶴女史は今回元山公立實科高等女學校教諭として著任す

春川

▲金谷獸醫轉任 春川畜產組合勸務中なりし金谷獸醫は今回新設の華川郡主任に轉任し五日赴任せり依て郡廳員及び道榮の獸醫一同より記念品を贈り送別の宴に換へ出發の際は官民の見送盛なりし▲農會と敎員講習會 道農會は十一日より道廳內に於て開催の筈なりしが都合により無期延期となれり又私立學校敎員講習會は十一日より向ふ一箇月間道廳內に於て開催す▲鑛業出願 春川邑資產家中島昌一郎氏及び竹崎工務所主任竹崎禎造兩氏の出願に係る揚口郡明月里に存在せるタングステン鑛は有望なりとの事なるが今回三井鑛業株式會社と同願となり當局の措置を待つと▲增水と交通止 春川一帶は七日朝より積雪三寸に達し八日九日は風雨間斷なく春川は增水一丈六尺に達し昭陽江の渡舟場たる新延江及び昭陽江の渡船場は交通止めとなれり▲拾得物屆出 警務部小使扁田壯(三二)は廿三日午後七時春川邑石橋湯に於て韓國銀行券五圓紙幣一枚拾得直に春川警察へ屆出づ▲春季種痘施行 春川警察に於ては十日朝鮮人十一日內地人の春季種痘を施行す

淸州

▲前長官來淸 前鈴木忠北道長官は道長官會議參列の歸途十三日午後一時淸州着家財を取纏め十七八日頃大邱に向ふ可しと因に淸州在留官民一同は十五日午後二時より道廳構內に於て盛大なる送別宴遊會を催す由▲中川軍醫榮轉 淸州憲兵隊本部醫務室勤務中川軍醫は今回陸軍一等軍醫に進級し高知衛戍病院附を命ぜられたる旨十三日午後淸州より內報ありたり▲中島警部著任 今回仁川署より轉じて忠北警務部勤務を命ぜられたる中島警部は十三日著任したり▲春季種痘と淸潔法 十六日淸州公立小學校に於て種痘接手をなす筈にて又來る二十三、四、五の三日間淸州市內の春季淸潔法を施行す可し▲雀捕獲獎勵 逐年獎勵金を交付して雀捕獲獎勵をなし非常の好成績を擧げつゝある忠北道にては本年更に一層の好果を得んとて去る一日より極力獎勵しつゝあり本年末迄には一戶平均二十羽以上(成鳥、雛、卵共)約三百萬羽の捕獲をなさしめん計畫にて成績優良なるものには表彰狀及び獎勵金を交付すべし尙一般人民の外各公私立學校生徒にも捕獲を勵行せしめ之れ又調査の上等級を定め獎勵金を交付して生徒の貯金及び學校用品購入費に充てしめん計畫なりと

大邱

▲餓洋橋渡橋式 達城郡解顏面琴湖江に架しある餓洋橋は三月三十一日落成したるを以て十二日渡橋式擧行橋上を會場に充て第一鈴木老席達城郡守開會を宣し谷道書記代理大川技手の工事報告、鈴木道長官代理入澤第一部長の告辭、竹崎大邱府尹、河井朝民社長代理久納氏の祝辭、祝電、高齡者內地人宮崎喜一郎夫婦、鮮人柳尙輔夫婦の渡橋、餅撒了りて會場に設けある祝宴に移り散會せり因に該橋は其構造に於て慶北第一に位せるものなりと▲內地人新墓地 達城郡壽城面大明洞に於ける內地人共同新墓地は已に認可の指令に接したれば愈々十五日より使用許可さる▲白井旅團長挨拶 今回著任せる白井第四十旅團長は十二日諸官廳を歷訪挨拶さる▲庄司安東署長赴任 庄司新任安東警察署長は十一日來邱警務部出頭事務打合せの上十三日新任地へ出發せり▲大邱觀世流謡曲會 來る十六日午後一時より東本町大和樓上に於て觀世流謡曲會[illegible]

尙州

▲經濟近況 慶北尙州地方は農閑期切迫せる事とて金融幾分か回復しつゝありしも雜貨は月々昂騰し之に反し米價持合の爲め農家は生活難に陷りつゝあり市場は漸次活動期に入り大豆の出廻りを見る前月に於ける貨物集散は白米二百七十八石大豆百八十四石小豆二十石大麥一石小麥六十九石にして相場は籾四圓八十錢玄米十圓三十錢大麥三圓八十錢小麥四圓大豆六圓見當なり

永川

▲產業狀況 秋麥の生育良好にして既に莖長け三寸餘に伸び春蠶も全部終了し其他果樹類の手入も好望に經過しつゝあり▲市場近況 貨物集散捗々しからざれど醬油釀造の季節とて麴の入荷比較的多く前月七千俵の取引を見たり▲最近穀價 邑內穀價は玄米八圓五十錢大麥三圓八十錢大豆五圓八十錢▲靑年會發會式 慶北永川郡琴湖學校組合にては今回組合員の良風敦睦を持の目的にて靑年會を組織し十日氏神金比羅祭日を卜し盛なる發會式を擧げたり

釜山

▲連滯輸送盛況 從來滿洲よりの荷物は豫て大連を經て海路により日本內地に輸送されつゝありしが近頃歐洲戰の爲め船腹不足の結果其の後鮮鐵の連滯輸送により試み居りしが今回又々三井物產は長春より大豆八輛二百噸は門司[illegible]三日間に關釜連絡船により[illegible]輸送を爲せり▲製油所に試驗的連滯輸送を爲せり▲佐々木長官來釜期 來る十六日擧行の釜山公立商業專修學校の記念式に臨場の爲め慶尙南道長官佐々木藤太郎氏は十四五日頃來釜の筈なり▲鈴木法院長の東上 來る廿日より東京に於て開會さるべき司法官會議に列席の爲め釜山地方法院長鈴木伍三郎氏は十五日夜連絡船にて東上の筈

◎安東縣通信

▲改野理事視察 東上中なりし改野滿鐵理事は九日午前安東驛通過五龍背に赴き溫泉場に一泊の上十日午前十一時三十五分列車にて來安各所を視察し午後六時よりスミレに於ける中野民團議長の招宴に臨み同夜八時三十分發列車にて歸連の途に就けり▲稅務司の歸國 安東海關稅務司ピーシー、ハンソン氏は停年滿了に依り一箇年間の賜暇にて近日歸國する筈に付安東商業會議所及び安東商務總會の發起にて來る十五日公會堂に於て新舊稅務司の爲め盛大なる送迎會を催す筈▲滿鐵江岸開放 安東滿鐵附屬地江岸一帶は安新渡江場棧橋並に安東油房前を除く外全部安東驛埠頭區域に屬し從來船舶の繫留に際しては一[illegible]規定の[illegible]を徵收し居たる[illegible]企圖する[illegible]約二百二十間坪數一萬二千餘坪を開放して共同荷揚場と爲し無料にて船舶を繫留せしめ得ることに改正し本月一日より實施せり而して同時に江岸棧橋前の鐵道倉庫裏手一帶約一萬四千四百坪を宅地として向ふ三箇年間無料にて一般に貸下ぐることとなりたりと▲滿鐵大運動會 滿鐵運動會安東支部にては來る三十日の日曜日を卜し安東驛西方の廣場に於て春季陸上大運動會を擧行する筈にて各係選手連は既に數日前より日々猛烈なる練習を爲しつゝあり

人事消息

▲川上常郎氏(平北道長官) 十三日朝歸任
▲佐々木藤太郎氏(慶南道長官) 十四日朝歸任の筈
▲宮木又七氏(全南道長官) 十六日朝歸任の筈
▲野口次郎三氏(農務課技師) 畜產狀況視察の爲め十九日平南に出張の筈
▲岩井長三郎氏(土木局技師) 十二日咸鏡に出張
▲鈴木敏雄氏(同上) 十五日釜山慶州に出張の筈
▲赤木萬二郎氏(平壤中學校長) 十二日入京
▲藤田直三郎氏(釜山中學校長) 十七日入京の筈
▲鵜飼賀四郎氏(江原道技師) 十五日朝出發歸任
▲具野好平氏(ローサンセルフ日本人會副會長) 十二日夜入京不知火旅館へ
▲大山昇平氏(三浪津興業會社出張所長) 十三日朝入京同上
▲福田四郎介氏(李王職事務官) 十二日夜內地へ
▲前川賦吉氏(香取艦海軍大尉) 十二日鎭海へ
▲アリンチ氏(米人鑛山業) 十三日朝入京朝鮮ホテルへ
▲李翰鎬氏(全北長官) 十二日午後群山より入京
▲河野檢査官一行三名 十二日午後入京總督府官舍へ
▲板東勘五郎氏(德島縣代議士) 十二日午後安東縣へ
▲萱野二四郎氏(全州警察署長) 十二日夜入京清光館へ
▲金遊氏(江原警務部長) 十二日夜入京清光館へ
▲牧山耕藏氏(朝鮮公論社長) 十三日午前發 渡日
▲ケプトレル氏(京城駐在英國總領事) 十三日元山より歸京
▲白川友一氏(香川縣代議士) 十三日午前入京吉野町自宅へ
▲佐藤小次郎氏(第九師團參謀長) 十二日夜元山より引返し直に北行
▲小城齊氏(鐵道局經理課長) 同府發地より今明日中に歸任の筈
▲稻垣兼氏(同工務課長) [illegible]了り十二日夜歸任
▲飛尾亞湘氏(鐵道局參事) 十三日朝[illegible]

□陰氣なる倫敦より
三月十日 坂出鳴海

花多き倫敦のシーズンは五月と聞及び候此地の三月は寒風寒雨を運び多陰多濕の季候に御座候されど芝草は四時青々とし公園の木立は早や芽を吹き申候戰時の倫敦は日に日に陰氣に向ひ候二月以來夜間消燈の勵行は街燈さへも暗くし家々の窓は垂れを下ろし不夜城と聞きしに違ふ昨今の有樣は平時に想像もつかぬ次第に候、町の辻には募兵、召集の廣告や水兵勸誘の張札や、更らに振つたのは戰場に立つこと能はざるものは金を醵出すべしとか物々しきビラ許りに候所謂緊張せる都會の光景御賢察可被下候。匆々。

鷺の胸の柔毛に生れ　水泡はたまゆら春に　瞳をあげぬ（カナ）

●昭憲皇太后二年祭 聖上陛下出御あらせらる

十一日は昭憲皇太后御二年祭に當らせらるゝを以て宮中にては午前九時々御靈前の装飾を奉仕し東伏見同妃、梨本宮、同妃、東久邇宮各殿下を始め奉り波多野宮相以下宮内省勅奏任官其他著床莊嚴なる神樂歌奏樂裡に御開扉神饌幣物を供し九條掌典長恭しく祭詞を奏し濟て天皇陛下出御御拜禮相成て入御其々各皇族方を始め奉り參拜諸員の拜禮あり終つて神樂歌奏樂裡に御閉扉幣物神饌を撤し各員退下並に當日の御祭典を終らせられたり尙ほ伏見桃山御陵に於ても莊嚴なる御祭典を行はせられたり（東京）

●立太子式の御儀 壺切の御劍親授あらせらる

今秋行はせらるゝ立太子式は宮内省に於て近くその御準備に著手せらるゝこと既報の如くなるが今御式の模樣を洩れ承るに立太子式は御即位禮に次ぐ大典にて殊に賢所大前の御式は最も莊嚴に行はせられ天皇皇后兩陛下の内陣御拜禮に次で皇太子殿下御拜禮あり終りて 天皇陛下には皇太子殿下に對し優渥なる勅語を賜ひ同時に壺切の御劍と申すを御親授あらせらるゝ次第なり壺切の御劍の由來は醍醐天皇が皇太子に在す折宇多天皇より賜りたるがその初にて爾來歷代の御嘉例となりたるものなりと（東京特電）

●アンダウッド氏 獨探と間違へらる

十二日午前七時半關釜連絡船高麗丸が朝鮮より入港するや前日來何物か警戒しつゝありたる下關憲兵隊は數名の私服憲兵を派して警察官と共に同船より上陸する外國人の國籍氏名等を調査し米國人宣教師アンダウッド氏夫妻の一行に對しては特に

▲旅行券の檢閲 を求めし上一行が山陽ホテルに入り第一號室に休憩する間もなく二宮憲兵隊長は英國領事館武藏書記と同行にてホテルにアンダーウッド氏を訪ひ約卅分に亘り何事か會談し間もなく下關警察署よりも玉木警部茂手木通譯の一行來り共に一室に會合し次で令息エッチアンダウッド氏とは別に

▲階下の一室に 於て會談し此時は下關署長中谷警視も立會せるが同十時分隊長、署長は何事か打合をなしホテルを引揚げたりアンダーウッド氏並に令息に對し下關官憲が何故かく嚴密なる檢閲と引續いて長時間の會談を求めたるかその原因及び事件の内容は秘密に付し居らるゝも記者の探知し得たる所によればアンダーウッド氏の名が祟てその筋に於て

▲警戒中の獨逸人 の名と同じく又その筆跡も酷似する所ありたるため獨探の嫌疑かゝりしに非ざるか又一つには去月十五日アンダーウッドと稱し朝鮮に向へる米國人が今回のアンダーウッド氏と同名異人なるに拘らず而かもその所持する旅行券は同國同名なるより端なく官憲の注意を惹起し扨てこそ同氏は迷惑なる取調を受くるに至りたるものにはあらざるかと因にアンダーウッド氏は十二日午後七時十分發にて横濱に向ひたり（下關）

●馬賊襲來＝對岸支那領から 國境ではもう揚雲雀の聲を聽く 水間憲兵中佐談

咸鏡北道警務部長

國境咸鏡北道にも春が來た道廳所在地鏡城の後ろに連互せる雪嶺の高嶺にはまだ眞ッ白い雪があるが麓の原にはもう揚雲雀の聲を聞く、鏡城でも我々の出發する頃には役所の暖爐を撤退した位だつた、それにまた支那と境する圖們江の結氷も去る三月下旬から溶解し始めた河の流れは毎年十二月から翌年三月までの多期間厚さ約六尺以上の厚氷を見るが何分にもその上で軍隊の爆破演習をやる位な堅氷なので毎年解氷期ともなれば大きな氷塊が續々と流下する、而して恁麼時には

□圖們江の 渡航は一時交通杜絶となるのである、併し河の流れが國境の間を隔てゝ居る間は安心だが毎年冬の結氷期になつて江上の

□交通自在 となると往々にして對岸支那領の馬賊が侵入する事がある今では上流白頭山下の農事洞から下流土里に至る約百里の江岸に沿うて約二三里毎に

□憲兵隊が 置かれてあるから大丈夫だが以前は随分跳梁したものだといふそれにまた沿岸の各部落には夜警團といふものもあるから今では

□此の邊の 住民は極めて長閑に暮される事となつた、江岸の憲兵隊は先づ茂山、會寧、慶源、慶興の四箇所に憲兵分隊があり其他二三里毎に憲兵分遣所派遣所があつて猶ほ

□警備電話 も各地に通じて居るがこれ等各地の憲兵は毎日本職の他に鮮人に對し國語教授を爲し猶ほ税關官吏の仕事をも執掌しつゝある

□郵便物の 如きも鏡城から五日乃至六七日の日子を要する土地が多いので右の地方に居住する人は隨分不便な生活を送つて居る譯だ、また圖們江の下流では時々對岸の露西亞官憲と

□交際して 居る所もあつて國境の生活はあれで却々面白い、そして此の邊からは續々と生牛の露領輸出が試みられ現に慶興附近の龍驤に於ては新らしい

□牛市場が 設けられた程である、また將來淸津港からずつと間島の奥地まで延長すべき淸會線の鐵道は目下著々工事進捗中で沿線の人氣も引立つてゐるが現に

□淸津から 檢城の間は建築列車が運轉中で此の一事だけでもすでに北鮮の爲めに愉快である、其の他一般に羅南、淸津の景氣は持ち直して昨今便船毎に淸津上陸客滿船の盛況である

●龍山兵員交代 熱誠な龍山市民の送迎

朝鮮二個師團設置の結果龍山の新舊兵員は來る十七日から五月二十六日に至る約四十日間に亙り前後十六回に分ちて新舊兵の交替が行はれる新衛龍山市民は交代の將校兵卒に對して熱誠を以て歡送迎したいと十日以來其々打合中であつたが十二日愈々京城府龍山出張所に龍山有志の打合會を開きて決議を纏めた上十三日午前十時半から京城府に協議會を開いて大體の方法を協定した其大要は前記四十日間龍山驛前に接待所を設け赤十字社朝鮮本部、龍山有志等出張して茶菓煙草を供し一方には絶えず煙花を打揚げて送迎を壯にし漢江通り一圓は國旗球燈を提げ縁門を設くることゝなつた

●新舊兵送迎宴 京龍聯合の大宴會

龍山新舊兵員の交代に就き京城龍山市民は聯合歡送迎會を二十三日頃を期して行ふ事となつた其日取りはまだ軍隊との打合を了せざれば確定しないけれども大體同日又は其前後に定め時間は午後一時から龍山鐵道公園で新舊軍隊の將校を來賓とし寺内總督を始め各部長官局課長其他各所屬官署公私立の團體代表者等を招待して大宴會を行ふことゝなつた發起人には金谷府尹、原田金之祐、趙鎭泰の三氏を囑託して十三日から其の準備に著手する筈である當日は會費一圓にて一般に會員を募り將校を來賓に下士以下に對しては酒を饗する筈である餘興は京龍藝妓總出の手踊、博多二輪加等あり當日京龍の市街は縁門、國旗、花提灯を以て装飾し龍山にては數十發の大煙花を打上ぐることも何れも決定した

●竊盜の二字は御取消被下度候

拜啓仕候貴社愈々御清榮奉敬賀候陳者貴社御發行の大正五年四月十一日朝刊の三頁御記事中『詐欺は無罪』と云ふ題目の内詐欺及び竊盜の前科二犯を有する男なるがと云ふ事に付き竊盜の二字は御取消被下度候前科二犯は事實に候故罪名は何でも構はない樣の者に候も竊盜を働きし事無之人に顏を合すに非常に迷惑を感じ候小生は元來酒癖の惡しき者にて第一犯大正二年一月十四日醉狂の上新町にて十圓許りの無錢遊興（罪名詐欺）にて懲役三箇月の處分を受け候第二犯は大正四年四月二日北米倉町朝鮮人酒幕にて醉狂の上二十七錢五厘の無錢飲食其上亂暴を働き（罪名詐欺）にて懲役六箇月の處分を受け候此二つが前科二犯に竊盜と云ふ事は全然形のなき事に候間何卒至急御取消御發表被下度候小生は無教育の職工にて文章は下手に候故御詫の上全文御掲載御取消願上候敬具

正の　京城長谷川町八一　吉井文吉

●味噌と醬油と酒 主家の貨品を窃取す

山口縣都濃郡富田村生れ當時京城本町三丁目田中支店雇人久樂文助（二四）は本年一月中家人の隙に乘じ數回に味噌、醬油、酒類等を窃取し其の某に賣却し二月中にも同樣窃み出して本町三丁目の某に賣却したる外昨年十二月以來本月迄に前後十一回に亙り主家の貨品を窃取したること發覺し本町署に引致されたり

●阿片を密賣

京城竹添町二丁目雜貨商安龍煥（三二）は昨年中仁川新川市場にて天福厚なる支那人より阿片二包を十五錢にて買求め自宅に所持し居れること發覺し鍾路署に引致されたり

タングステン ▲相場の騰落 アーレン商會主談

次に選鑛されたるタングステンを買ひ入るゝ人がよく注意しなければならぬ事は往々にしてタングステンの擬物をつかむ事である、最近、私は

◇狼鑛重石として

或る人が持つて來た鑛石中にコルムブ石や電氣石並びに錫石などの混合つたものを發見しましたが過つて買つたら飛んだ損失を招きます、併し注意すれば重石とこれ等の鑛石との識別は極めて容易な事であつて先づその重量によつても容易に判明する事が出來ます、先づタングステン石を手に載せると（錫石なれば比較的に重い感じ）がしますが前に擧げた錫石なれば鳥渡鉛に觸るやうな手觸りで且つその微片が恰も砂に觸る如く角が柔かに感じられます、それにまた褐色の色合によつても容易に識別し得る事であります、此の事はタングステンを取扱ふ人々が最も細心の注意を要する點でありまして若し

◇其の見本が美事

であるが爲めに迂かり六十八パアセントもあらうかと思つて引取つて見ると試驗の結果右の黑い擬物が現れて僅かに四十八パアセント位ゐの品となる事があります、注意しなくてはなりません、さてまたタングステン鑛山の經營には其の地中に埋沒された鑛脈の豊富に續いて居ることと（鑛山の經營の一定不變なとか　買にその鑛山の死活問題）となります、然るに今日のところ朝鮮に於ける重石鑛はその眞價を充分に知る程の事業が起つて居りませぬから其の將來を豫言するとは極めて困難なことかと思はれます、併しながら次ぎの事だけは明らかに斷言し得られると思ひます――それは將來の

◇多くの重石鑛は

平時の事業として經營するには餘りに鑛脈が狹くて今のやうな經營法では到底引合はぬやうに思はれますが然も昨今の重石熱はこれ等の山を熱心に探し求められた上それが驚く可き値段で賣買されて居ります、今日新式の設備による重石鑛經營の最少限度は一箇月十噸の採掘量を以て約三萬圓の費用を要します、それで世間の多くの鑛業家君は今日の（タングステン相場の下落せ）ざる間の好機を逸せず出來得る限り多量に採鑛するが御利益です、若しも今日の天井相場が下落し始めたら以上は其の打撃は極めて急速度に襲來し多くの鑛業家を失望せしむるでありませう（をはり）

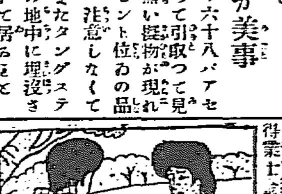
書畫骨董入札
五月十五日下見十六日開札
御出品物は十四日夕刻迄に御屆け被下度候
御下見御會に付別に案内狀差上不申候
京城南山町三丁目　佐々木聚古堂　電話二二三番

書畫用　純宣絹　京染吳服商　たきや出張店　京城永樂町二　電話一二九六番

公告

一京城府内道路撒水（撒水用車人夫付七千臺）此請負入札保證金各自見積金額ノ百分ノ五以上
右請負入札ニ付希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ入札心得書、請負契約書案等熟覽ノ上本月十五日午前十時本府會計係ニ入札書提出スベシ即時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充指揮ニ依ル
大正五年四月十二日　京城府

愛らしき處女の囁き（ニキビが取て急に美人となる）



オヤ／＼驚きましたネ、アナタは私と同樣ニキビでお困りでしたが今は痕跡もなくキレイに取れて色が大層白くホントに美人にお成ですネ一體ドウしたのですか『ハイ實は藥學得業士金澤藏氏のラスターと云ふ内服藥が大層良いと聞き早速用ひましたらコンナニ成りました元來顔面にニキビ吹出物オデキを生じ其他ドス黑く醜き斑點のある等は体内胃腸の變化より生ずる一種のトキシンに原因するものなれば内服藥にて治療するを正則とすラスターは此等の皮膚病に良効ある内服藥にして同時に胃腸を整へ身體を健全とす注文は三錢郵券十枚封入して東京下谷區上根岸町百十一番地金澤藥局へ申込む時は直に送藥すべし

勞力　致富之寶無代進呈　大阪堂島米穀取引所仲買人　㊣橋本商店　電話長北 一五五四四 一〇九八　振替口座大阪二四一七二

てんかん　病で時々ヒキツケ種々の手當も効なく困難の方切手三錢送れ永年の病も自宅にて人知れず秘密になおす最善の良藥をお知らせ致し升　名古屋市中區南小川町　救生館

滋養強壯 ヘモグロビン　貧血虛弱者之大福音
獨乙藥學界ニ於ケル近代的大發見トシテ有名ナル彼ノ補血滋養劑ヘモグロビン（血色素）ハ今回本邦ニ於テ更ニ理想的ノモノヲ醫學士篠田德太郎先生ニ依テ發見セラレタリ
貧血衰弱、肺結核　神經衰弱、一般虛弱　其他産前産後病後回復期等ニ偉大ナル効アリ
●詳細説明書無代進呈　●各藥店洋食料品店ニアリ
定價　小 壹圓　大 貳圓五十錢　エキス 壹圓廿錢　送料各十二錢
東京日本橋吳服町　大塚琢造　電本四六三〇　振替東京三七三五
近來粗惡ナル僞物アリ上記商標ニ御注意ノ上必ズヘモグロビンヲ御指定アリタシ

廣江商會景品附賣出　當籤番號廣告

先般來擧行の弊商會景品附大賣出しは愛煙家各位の甚大なる御同情により空前の好結果を以て愈々終了既定の通り昨十二日京城商業會議所に於て抽籤の結果左の通り當籤致し候間此段廣告候也

京城・仁川　兩市内に限る

◆景品附賣出當籤番號（但し各組に共通す）

◎壹等　白米五斗入一俵（十本）
貳八六壹

◎貳等　上等醬油壹樽宛（三十本）
七九　七四八　壹參參八

◎三等　しらぎ煙（一ポンド宛）（五十本）
壹壹　貳參七六　六四五　貳九貳〇　壹七九八

◎四等　上等鏡一個宛（一百本）
參參　八六四　壹壹五四　壹九參〇　五五　九九〇　壹壹七七　四五壹　九九六　壹參五參

◎五等　百圓票五包宛（四百本）
一六　二二四　五〇六　七七八　一三〇一　一四九一　一七八〇　一九四七　二二五〇　二七八一
二八　三一二　五四一　八五四　一三三三　一五四六　一八一五　二〇〇六　二五〇四　二八八二
六八　三二〇　六〇九　八八八　一三七三　一六四〇　一八八一　二〇九七　二五二九　二八九三
二九七　三三八　七〇四　一一八六　一三八八　一七六二　一九四〇　二一五三　二六一八　二九九三

◎等外　石鹸及齒磨粉一個又は一袋宛（二萬本）

景品引換期限　大正五年自四月十七日至四月二十七日

▼引換所
京城南大門通三丁目　京城　廣江商會總販賣店　電話二五二番
仁川京町二丁目　仁川　玉植商店　電話六五一番

●難破船救助者 昨年十二月十七日釜山より[illegible]に航行中切端御神合にて難破船を救助せし[illegible]同富太郎、三好荒吉の四名は過般鑑總監部より褒彰されたるが十日賞の傳達ありたり（釜山）

●[illegible]出す [illegible]りたる牛代金全部を出せと迫り居るを寢耳に聞き込んだる宿泊中の支那人密かに家外に運び出で割れんばかりの大聲を發して泥棒々々と[illegible]

[illegible]は要きに鐵道職工等の賭博常習犯者大檢擧を行ひたるが尙ほ近來賑町方面に於て賭博に耽り居る者を探知[illegible]

●財布を奪取らんとす 慶南晉州郡晉州邑東城洞佐野京次郎長男義路（二〇）が去る四日午後五時頭村大安[illegible]取押へ警察署に突き出したるが此奴は同郡平安洞朴一世（七〇）といふ者な[illegible]

[illegible]技、同岡夫、同啓助、同直道、山口留吉、同しげ、下森菊蔵、川崎すみ、吳正服、加藤善助、木下喜助、同やすゑ、同中たね、橋本寬、同いつ、同ときい、植松健、古城平之助、同東二、道きしす、宮永すず、加藤あさ、同みき、同和、同英、同重、岡宜太、高濱勝太、同重吉、吉田百合藏、同ちよ[illegible]

天氣は　曇り後晴れ　四月十四日[illegible]
〇月出 午後七時一分
[illegible]

少年犯罪 松寺檢事正談

中年者の犯罪多し

京城地方法院直轄區域内に於ける受刑者の統計を調べて見ると色々の現象を發見するが概して内地に比し中年者の犯罪が多いやうだ、内地では二十より三十迄を犯罪期間として居る此の頃は青年の思想定まらず頭腦の浴試を受くる時だから從つて軌道を踏み外す者も少なくないらしい、然し人も三十を過ぐれば係累も出來多少の地位も作れる譯だから從つて自重心を生じ裁判所の厄介になる者も少く減ずるのであるに朝鮮では青年者流の犯罪と同樣三十以上の中年者及び四十から五十迄の初老者中刑に觸るゝ者の頗る多きは何故であるか、乃ち昨年の受刑者統計を見るも廿歳以上卅歳未滿は一千參廿人なるに卅歳以上四十歳は八百四十五人更に五十歳迄の初老者に四百五十二人と云ふ數を現はしてゐるこれ朝鮮一般の中年者初老者生活難の爲に因るか無職者の多き爲めか但しは朝鮮人の盜癖等に原因してゐるか或は亦内地人犯罪者は周圍の生活程度が高い爲め慾望の餘り自然良からぬ事を仕出來すのであるか、一寸研究に値する問題のやうに思ふ

少年と自暴自棄

數日前も西大門及び京城兩監獄を視察したが若冠の獄務を視て常に感ずるのは少年囚徒に體刑を科するの可否如何である亦進んでは體刑を科して果して如何なる結果を見るやと云ふ事だ、少年囚徒は横領詐欺等の極る少數を除けば九割以上窃盜である然し少年は滿期出獄すると無論世間の待遇の惡いのも一因だらうけれど已れは刑餘の人であると云ふ捨鉢的態度に出ると見えすぐ深入りして再犯或は三犯の累犯者となる、乃ち昨年中京城地方法院直轄區域内の少年受刑者は十六歳以上二十五歳未滿五百五十八名だが之れに對し再犯者は百八十六名乃ち約三分の一を示し更に三犯は七十三名で再犯者の四割と云ふ率になる、吾輩は幾分精神に缺陷ある可憐な少年犯罪者に獄房生活の痛苦を嘗めさするより之れを精神的に教導し善化し其の衷心より己れの惡を愧づるやうな方法に出づるの適當ならざるかを考へてゐる、但し少女にして姦通の結果其の郎君を殺害したり又は少年にして強盜殺人等の重罪を犯した者杯は無論此の論で律しようとするのではない

鮮人の掏摸は若い

コレから京城なども掏摸の被害が出て來るであらう掏摸は内地では隨分場數を踏んだ老練の奴があるやうだが朝鮮人の掏摸は大抵若い男である元來朝鮮人は手先がよく利くから掏摸は上手になる素質を持つてゐるやうだ其れに段々内地の巧みな手法を眞似たり數はつたりして近年内地人の本者も三舍を避けるやうな手練家も居るらしい、唯内地人のスリは殆んど影を見せない、結局朝鮮三界迄渡つて來るより内地にゐた方が旨い掠鳥も目付かり手際な仕事も出來るからであらう、尤も昨秋の共進會の時は何とか云ふ有名なスリの親分が乾分數名を率ゐて京城に乘り込むと云ふ情報があつたから警察では其の著京を待つて相當説諭を加へ直ちに送戻りさせたとの事だつた、斯う云つた例は決して少なくない或は之れが内地人スリの足跡を京城邊に印し得ぬ有力な理由かも知れぬ、其れは借て置き鮮人の市日、人集りのする場所などでは内地人もよく注意せぬとすぐ鮮チボにしてやられる

[illegible]賀吉、松岡千代吉、[illegible]方に二月[illegible]同日前記航路中西生面沖合にて難波[illegible]賠を教助せし廣井民五郎、同金太郎[illegible]廿八日午前二時頃三名の鮮人强盗押入り棍棒を以て家人を脅迫し此間[illegible]て慌てまくりと逃げ[illegible]

平壤博徒狩り

平壤署にて[illegible]者と認むる者を引致し目下取調べ中なりと

[illegible]んとする處へ弟路の父が驅せ付けて[illegible]

五十萬圓を貰つた日本娘

布哇ツイルア耕地に在住せしカナカ土人夫婦の養子となりし日本娘東海林きち（一七）が先頃老夫婦共に病死せし爲め其の遺言狀に依りて遺産廿五萬弗を讓られたりと云ふ奇談あり薄倖の少女物語りの起りは去る明治三十二年一月の事なりき福島縣伊達郡掛田村なる東海林權四郎（三）といふがホノルルに上陸し妻のテフと共にドーリック號にて

▲**移民局の厄介**になつて無事に此の島のワイルア耕地に至り何不足なく働き居たるに明治三十四年十二月テフは死亡し遺されたるは權四郎と長女キチ及び生後間も無き當歳の男子なりしが權四郎は二兒を他に預けて自分は勞働に從事せんとせしも世話する人とてなきより悲嘆の涙に暮れ居たるに茲に親切なるカナカ人の夫婦ありて其の可哀想なる境遇に痛く同情し幸ひ子供もなければ貰ひ受けて

▲**養子として育て**んと申入れたれば權四郎も遁まれ乍らも養子として土人夫婦に二兒を與へたり慈愛の手にカナカ人夫婦は非常に喜び正式に養子の手續きを濟まして二兒を蝶よ花よと育て上げ居たるが權四郎は其の後カナカ老夫婦にも我が子に別れて明治卅九年米國に渡りサクラメントに於て商賣を營む事となりたるにカナカ人夫婦は二十五萬弗の財産を殘して此程病死したればキチは親族立合の上老夫婦の

▲**遺言書を開き**見たるに右二十五萬弗の全財産は凡て養子たる長女のキチと弟の二子に與ふべしと記しありしと何れ其の内正式に手續きを濟ます筈なるが姉弟とも日本[illegible]

身輕い扮裝で逃げ出した

俘虜二名の行衛

久留米俘虜收容所第九號バラツク海軍二等掌砲兵曹ワルター、ステレンベル（三）及び同七號バラツク海軍歩兵卒エ、ンストウイルレルバツス（三）の兩名は十日夜收容所西北部の

▲**板園ひ乘越**え逃走し行方不明となれる事は既報の通りなるが其の詳報を記さんに十一日朝八時の點呼に於て宿直將校蒲原中尉が發見し大騷ぎとなり久留米憲兵隊及び久留米警察署に急報し目下所在搜索中なるも同日夕刻迄は未だ逮捕に至らず而して脱柵の個所は收容所營務室と裏門との中間にて其より一名は附近の麥畑の中を横ぎりて荒木驛方面に逃走したるらしき形跡あるを以て同所にては直に荒木驛に問合せたる所果して同夜十一時十八分同驛

▲**上り列車内に**一名の怪しきものありといひ又十一日午前七時頃前二日市驛に於て下り列車内に一名の外人が乘込み居たるを認めたりと傳ふるものもありて是等の點を綜合するに彼等は脱柵後同一行動を取らずして殊更に一人々々に分れ其の一名は荒木驛より乘車し鳥栖にて連絡の長崎線列車に乘じ長崎に先著し他の

▲**一名は徒歩で**二日市附近迄至り其れより下り列車にて長崎に向へるものにはあらずやと思はるゝしあり猶同人等は從來の逃走俘虜と異なり食物や着替へ洋服など所持せず黒羅紗の洋服の上に同樣の外套を著し極めて身輕き扮裝なるが如し古洋服及びパンの如きは皆遺留し居れりまた所持金は兩名共同僚より借らざる限り多額の現金を持居らざるべしと右の内ステレンベルは南洋にて

▲**我海軍の爲め**に俘虜となり一昨年十一月五日長崎より久留米に來りたるものにて頗る英語に堪能なりと猶又今回の逃走事件に就ては他にも連類者あるものゝ如く現に十一日朝蒲原中尉が點呼に行きし際の如き彼等の態度は頗る曖昧なる處あり同中尉は三回も點呼を繰返し而して漸く逃走者のあることを知り得たる程なれば前記關係バラツクの連中に就て取調中（福岡通信）

回宿の木の芽和 山椒の芽を鹽水にて齊國に洗ひ水にてそいき細に刻み好く摺り白味噌を摺り山椒をも混ぜ味淋を加へ裏漉し、火に架けて練り冷ましてから和へる、筍は砂糖を入れてゆで二三分の大きさに切り煮出汁醬油にて淡味に煮、汁氣を切て置く

商況

東京株式特電

	十三日 前場寄付	大引
日本郵船	一八七、一〇	一八七、九〇
同新	一五九、四〇	一五九、一〇
日清汽船	一三四、八〇	一三四、八〇
南満洲鐵道	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日本麥酒	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
同新第一	[illegible]	[illegible]
東株新第二	[illegible]	[illegible]
東新新第一	[illegible]	[illegible]
東新新第二	[illegible]	[illegible]

債券現物特電

（前日との比較）

十二日出來値段

東京市債	[illegible]
東鐵	[illegible]
鮮銀行	[illegible]
朝鮮鐵道	[illegible]
南満鐵道	[illegible]

公債直取引特電

（前日との比較）

十二日出來値段

五分利特別	[illegible]
五分利公債	[illegible]
一二年五分	[illegible]
甲号五分	九九、〇〇

深川在米特電

十三日現在高

朝鮮米	一一六、三七九
外國米	一〇一、一二四
内地米	一、九九四、四八五

東京期米特電

	十三日前場六月限	後場
	一四、[illegible]九	[illegible]

大阪期米特電

	十三日前場六月限	後場
寄付	一四、〇九	[illegible]
高値	一四、一六	[illegible]
安値	一四、〇一	[illegible]
引け	一四、〇五	[illegible]

下關期米特電

十三日前場

當限寄付	一三、五七
中限寄付	一四、八九
先限寄付	一四、三二
	め止

大阪株式特電

十三日前場晴模樣散無味小口爭ひにして人氣は弱き方なり、四本[illegible]季節關係より

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

	前場寄付	前場引け
大阪株式	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪新株	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	[illegible]	[illegible]
京阪電氣	[illegible]	[illegible]
神戸電氣	[illegible]	[illegible]
宇治川水	[illegible]	[illegible]

▲十三日前場

	寄付	大引
三月限	二八、二〇	二八、一〇
四月限	二八、〇〇	二八、一〇
五月限	二八、二〇	二八、〇〇
六月限	二八、九〇	二八、五〇
七月限	二八、四〇	二八、三〇
八月限	二〇、〇〇	二九、九〇

朝鮮物産特電

馬山改玄	三一、〇〇	慶山大豆	[illegible]
晋州改玄	三一、[illegible]	晋州大豆	[illegible]
晋山改玄	[illegible]	晋山大豆	[illegible]
木浦改玄	[illegible]	浦項大豆	[illegible]
群山改玄	[illegible]	元山大豆	[illegible]
同特改玄	[illegible]	城津大豆	[illegible]
群山改玄	[illegible]	鎭南浦大豆	[illegible]
仁川改玄	[illegible]	長淵大豆	[illegible]
南浦改玄	[illegible]	擧城大豆	[illegible]
釜山上白	[illegible]	仁川小豆	[illegible]
釜山中白	[illegible]	實川大豆	[illegible]
釜山下白	[illegible]	平壤大豆	[illegible]
仁川上白	[illegible]	群山大豆	[illegible]
仁川中白	[illegible]	木浦大豆	[illegible]
川進白	[illegible]		

雜報

●人肥値上乎

人造肥料は還股來購會社共に値上げの時期に關して新界の動向を觀望中なりし所其引上期は愈よ切迫したる模樣にて之れが協め近日大阪に於て聯合會を開くなりといへるが一方引上率に對する各肥料の狀態は今日の所尙ほ區々

●金物材不勢

[illegible]なるも大日本人造肥料の如きは此の際一躍二十五錢となさん傾きあり此の最初の値を當時の價格に比すれば通計一圓五十錢高となる譯なるが一方聯合會の價格協定は先づ有名無實となり各自由の行動の下に適宜引上げをなしつゝ經過し來りしことて若し右二十五錢の引上げが聯合會を通過せざれば自由に之れが引上げを遂げ得べければ結局同額に引上げを實現するに至るの外なけれんと觀測されて居れる由

●**金物材不勢** 鐵材にしては強弱共に種々の説あるも要するに此度は例年の荷動き時期を迎へつゝあるに拘はらず不振の狀態依然變らず聯合先約の關係とか不能さかいふ擬關の狀にあるやとする現在の事情は到底之等の材料を以て市價向上の機運に轉ずるを許さざるのみならず強氣一點の營業者も何時もか先行き不安の念ある勢むにかれる有り同業者の警戒も亦買に引き强込みまん意向なれば此處相場も暫く動きなきは結局[illegible]

市價向上の機運に轉

亞鉛板共に幾分箍

鐵は初め洋釘下押し[illegible]つゝある[illegible]

●浦鹽鯡眼先安

浦鹽鯡の[illegible]結果は昨今元山方面へ輸入頗る多く産地の[illegible]高き人氣あり此段取引は同四十四錢の弱き見込み[illegible]

眼先幾分の下押

免かれ難き模樣なり

●麥粉チリ々安

[illegible]第一等安の不況なるに加へて昨今の仁川筋の需給の成行きを早げたる[illegible]に不參の一般的あり[illegible]

象票[illegible]

黄虎[illegible]

竹票[illegible]の市價維持に努むるも結局他所より漸次に切崩されん模樣あり

●米餅暴落見越乎

米餅は愈々一兩日中に入荷あるべき都なるが昨今浦鹽餅が各地に入込みつゝある際とて本品の先行きに付ては何れも

悲觀に傾き居れり現在品は尚ほ二十一二[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店

電話長二三二、七三九 電信略號（三）又（ミツ）

●豫期以上の脆き崩

[illegible]人なく新明太魚後は到底一百貫は避け難きもの如しり下の事情より推せば[illegible]十四五圓といふ安値を見するも案外早かるべしとの說もあり

●明太魚益々强調

明太魚は其許尙依然持合の姿なるも産地は上物拂底を傳に益々強調を報じつゝあり現持品一掃の曉は何れ産地氣配に率引せられ

昂進步調に移るべし

下關相場

▲朝鮮米は不引立依然産地との比較上安くは手放し兼たる風情なるも何分内地期正米の活氣なきより自然買氣の進まざる爲め兎角賣れ行き捗々しからずして市況引立たず其後の輸入は上玄米百五十八以白米二百五十▲小豆は淵商内 本品は米價の不引立なると共に一向買進む相人現はれずして相變らずの[illegible]引立つべくもあらず然れども産地との比較上別に賣り急ぎ物も又現はれざる爲め格別市況狂はず▲色豆類も狂はず 各豆とも依然當用小口への賣れ行きに過ぎずして市況引立たず然れども既記の如き事情の下に各手持筋の賣り急ぎがざるに依り格別人氣狂はず其後の着荷は大豆五十俵中長鶉豆五十俵等なり▲大豆は依然氣強し 本品は頃日來出廻り多からぬのみならず依然産地商不引合を唱へ各荷主の意嚮强きに依り相變らず人氣頗く之れが弗々の出來直は左の通りにて其後の輸入は汗補產三百九以フリ物產百以沢川物百五十以元山物二百以端川物百以

△秋田大豆 九圓四十錢
△汗補大豆 九圓五十七錢
△長端大豆 九圓七十五錢

京城正米

△深川大豆	九圓七	十錢
△深川通常大豆	十圓二	十錢
△同	九圓八	十錢
△元山大豆 上	九圓九	十錢
△同 大豆	十圓三十五	錢

㊀ 行賀仲買店

仁川海岸町 電話長一九〇 電信略號ユキ又［ミ］

買手の買人の態度頗く引締き手合行惱みの模樣なり結米口は白米相變らず苦しみつゝあり

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山穀物市場

[illegible]

仁川期米

▲十三日前場 大阪の寄十四圓[illegible]十錢

▲十三日前場一錢高の入電

保合の模様

十二日前場[illegible]

市場雜聞

▲前場動かず

▲人氣は大阪の小戻

▲靡き稍上走らん形

▲勢を示し

▲中先乘り替

仁川米豆取引所

十三日の六月限

	前場
寄	十一圓十一錢
高	十一圓十三錢
安	十一圓十一錢
引	十一圓十二錢
出來	一萬千石

平均値段	
一節	十一圓十二錢
二節	十一圓十一錢
三節	十一圓十一錢
四節	十一圓十一錢
五節	十一圓十二錢

賣買取組高

四月限	三百石	二八高	
五月限	一萬七千七百五十石		
六月限	三萬二千五百石		

十三日後場出來値 比較前日と

一一、〇〇		八比
一一、〇三		二高
一一、〇九		四高
一一、三九		七高

少し餘地 倘此上縮

▲依然保合

▲深川在米減少

▲多少割安の感

▲變質軟質等の格別

確實 廣澤三次郎

仁川海岸町 取引所仲買人 電話一六五番 六三〇番

迅速

北濱だより

▲鐘新昇騰

頃日來暗合の氣裡に悶へ悶へ[illegible]が保合の間に蟄伏しつゝあつた紡績は新舊の昇騰を放つたのは紡績株の相昇のであるのだが之れは新舊共さしに昇騰するに至れるは何等か從來の積込み筋の如き[illegible]

仁川海岸町三丁目一番地
仁川米豆取引所仲買人
㊐ マルニチ仲買店
電話長二八二番 二八三番
主任 白川小吉

演藝案内

大正館

櫻井町 電話八七三

[illegible]

壽座

本町 電話五七八

[illegible]

黄金館

黄金町四丁目 電話二六三七

[illegible]

大正館のうき世劇

大阪毎日新聞 讀者デー 優待券各等半額

詩館

本町 電話一〇五〇

[illegible]

浪花館

明治町 電話二六〇番

[illegible]

御成座

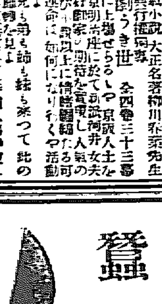
御成町 電話二九一

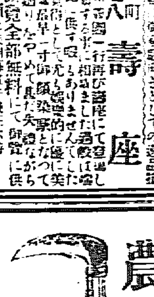
[illegible]

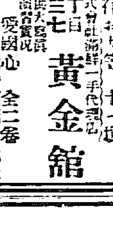
目錄無代進呈 實費分讓
京城西大門外竹添町三丁目
タリヤ
東京 千草園分園

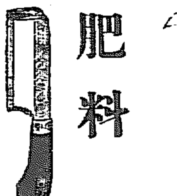
エンパイヤ號
屢々
高貴の御買上を蒙りたる
光榮ある……最高級車
御大典記念特製品
エンパイヤ號自轉車（名古屋岡本製作所製品）
品質優良二大製品
純英國製 鐘馗タイヤー
日本製 優等品 カクダイタイヤー
直輸出入商 發賣元 鈴鹿商店自轉車部 京都本店
朝鮮總代理店
朝鮮京城明治町二丁目
瀧川銃砲自轉車店
電話三〇二番

●セメント壹樽ニ付金參拾錢値上
日本セメント株式會社八代支店
土佐セメント株式會社
佐賀セメント株式會社
日本セメント株式會社大川工場
淺野セメント株式會社門司支店
小野田セメント製造株式會社









蠶具
農具
肥料
京城南大門通三丁目
三輪商會 戸田春藏
電話三八六・振替三七五
製作場 旭町二丁目 黄金町一丁目

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、菓、金巾、晒寸、石油、洋燭
罐詰、紙類、乾物、罐詰、ビール、サイダー、葡萄酒、淸酒、醬油、染粉、足袋、其
他の日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おしろ店
仁川本町
河野本店
電話三八一番 振替京城一二一番

宮本武藏

第七回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

さて翌朝に相成ると武藏、家來の川村久次郎といふ者に申付けて進物を調へさせ、進物臺の上へ堆高きまで積重ねて仲間に持たせ自身は馬乘で小石川富坂下佐々木岸柳の道場を指して乘込んで參りました、何うも富坂の佐々木の道場は大した繁昌、朝から門人共がお面お籠手をいつてポン／＼稽古して居ります武藏馬から下りて玄關正面に懸つて參り 武『頼む』○『ドーン』といつて一名の門人が立出る、武藏先生川村久次郎に命じて進物臺を玄關の式臺へ運ばせ 武『拙者は立花左近將監家來宮田武介と申す者、佐々木岸柳先生の御高名を慕ひ、劍道御指南に預り度く存じて罷出でましてござる、此品々は御門入の印證、宜しく御執次を願ひたく』○『暫時お控へ下さい』門人是を持つて奧へ入り○『先生』岸『何だ』○『エ、只今立花の家來宮田武介と申す仁が參りまして先生の御高名を承はり御門入を致したいと申して進物を持參いたしました』岸『ハ、ア』岸柳見ると進物臺の上に堆高く積んで金子千疋、扇子一對、白羽二重一疋生鯛一尾、清酒一樽、其外種々の品物 岸『ア、大した進物だ、是迄多くの門人もあつたが肥後の熊本から出て來た岸柳の弟子になるといつて、此樣に土產を持つて來た者はない餘程大身のやうだな○『左樣で年齡は若うございますが色の白い品格の好い人で 岸『客間へお通し申せ、叮重にしなければ不可ね』岸柳の申付けで門人が可重に案內いたす、武藏は案內に隨つて客間へ通り控へて居るお茶が出るお菓子が出る、待つ間程なく立出ました岸柳、年齡四十五六身の丈六尺に餘り色淺黑く鼻高く眼光爛々として一癖ありげな人物、黑羽二重四ツ目結五所紋の衣類を著し、一刀を前手に手挾んで居る、跡から山吹の小刀を持つて來た中身は二尺一寸で鞘は朱の鞘龍刻み、白糸を持つて卷上げたる南蠻鐵の鐔額の鍔、其跡に押田佐吉が尾いて出で來た、武藏先生兩手を突いて 武『大先生には、初めてお目通りをいたします、宮田武介といふ者でございます、御高名を慕ひ御門人を願ひ度罷り出でました、何卒御教導を下さるやうに 岸『是は始めて御意を得ます、拙者は岸柳只今は何よりの結構の品々を頂戴いたし千萬忝けなく受納いたす、就て是までの間に他の道場にお出でなすつて何流を御修業いたされました 武『親父が一刀流を少々使ひますゆゑ手解きは親共がいたして別に教師といふ者は取りません 岸『ハ、ア左樣か、親御の御手解きなれば宜しいが何うも御親子の師弟といふものはどういふものか、お互ひに我儘があつて往かんもので、併し親御の御手解きなれば宜しいが、白山御殿下の石川嚴流の弟子なれば御斷り申さうと心得た、其譯何となれば苗字は違つて居るが岸柳といふ紛らはしい名前を附けて、江戸表の嚴流は眞正の嚴流である、肥後の熊本の岸柳は僞岸柳だといつて拙者の事を惡ざまに言はれたといふ事、依つて拙者は江戸表へ參つて彼れと勝負を致して彼れ眞の岸柳であるか勝敗を定めやうと心得て日々試合の儀を申込むが彼れは病氣といつて作病を構へ一向來る樣子がない、其は拙者に勝つ見込みがないに依つて虚病を構へて居ると見える、さういふ惡い者のお弟子なればお斷り申さうと心得て何つたが親御のお弟子なれば大事でござらんゆゑ充分に御教授申すでござらう』と聞いて武藏は腹の內で大ひに怒りを生じたが、固より天下の强豪ゆゑ其しきの言葉を以て事を醒顏ものでない 武『何分宜しく願ひます』と頭を下げて居る 岸『然らば盃をいたさう』と錦の卷物を盃の上へ載せて出し 岸『是は道場の規則書が認めてあるが御承知の上御姓名を認め血判をなさるやうに 武『畏まりました』と武藏は押戴いて拜見すると門人の名前八十名ばかりズツと認めてあり皆々血判してあります、筆を執つて宮田武介と記し血判をしようといふ時に武藏は血判をしない、其譯は師弟の契約をなす上は岸柳は師だ、師を討つては天地神明へ對し申譯がないから岸柳の顏を凝と見た

お聞きなさい

▲大阪●子捕●の出没●

大阪北部の南北西江、福島方面には近頃子捕りの惡漢が出沒し五十恰好の老婆や十七八の男など數人の共謀者ある樣で方風の持つた住民は大騷ぎを爲し實に子を持つた住民は大騷ぎを爲し驚洲尋常小學校では一年生へ『戶外で知らない人が幾ら抑しく言葉をかけても決して欺されてはいけません』と訓戒を與へたといふ事だ

四月十五日九星　舊三月十三日壬午　本命四綠巽游先負

▲四綠●粗忽な事有日新事見合北方は吉旅行見合▲五黃●損の事有日孫附て新事手控驛事は吉向後は失敗を防がるべし▲六白●平調の日なれども新事控目の方吉爲事開始は妨なし▲七赤●調子のとれぬ事有日新事手控驛事は吉紹介口入等せぬがよし▲八白●無據盛の事有日新事手控驛事は吉高望を防がるべし▲九紫●叶ふ事多き日也居住●入學金件名弘求職建築婚嫁旅行士工請負人移居●一白●悠揚たる日轉居入門金件名弘求職轉上嫁▲入試驗を受る等萬吉▲二黑●女難失物用心の日新事手控驛事は吉萬町事にせらるべし▲三碧●都合よき日轉居行商出入名弘求職家作婚姻非戸縣粉吉物に勝の日

泌尿器病專門

入院隨意（診療夜九時迄）

腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痔疾　皮膚病

安部醫院　永樂町二丁目金光教會隣り　電話四一九番

大戰の勝敗と齒の强弱

驚くべき事實―大戰と齒の關係―粗惡の安齒磨は我が軍隊より速かに排斥せざるべからず―聯合軍側として歐洲大戰に參加せる米國ハーバード大學教授ポッター博士の實驗談

目下の大戰に於る初期の英國志願兵の大部分は極めて不完全なる齒を有し能く行糧を咀嚼するに堪へざりし爲め續々戰線より後送せらるゝの已むを得ざる狀態に在りき。然るに獨逸に於ては久しき以前より

▲兵士に善良なる齒を要めて極めて嚴密なる留意

風に意を用ふる所あり。獨逸陸軍の優勝なる能率は此事實に負ふ所決して尠少ならずとせず此の驚くべき事實は昨年十二月發行の『ハーバード大學校友雜誌』に寄稿せられたる『大戰に於ける齒科醫の仕事』と題する記事に於て同大學の『ドクトル、ポッター』教授に依り其に叙べられたり同博士は陸軍齒科醫の仕事は兵士の戰線に送らるゝに先だち久しき以前より著手せらるべきものなる事兵士をして兵役に耐へざらしむるが如き齒痛を避けしめ軍隊の行糧を咀嚼するに適當なる健全なる齒を有せしむるの極めて重要なる事此種の仕事が軍備の一部分として組織せられ多年繼續せらるゝに於ては其の成績必ずや見るべきものあらん事を說き更に筆を進めて曰く

『目下の大戰に參加しつゝある各國民中獨逸は其の

▲兵士の齒に對して最も組織的なる注意を拂へり

今を去ること十五年前獨逸に於ては兵士の齒牙不良にして硬き食物を咀嚼するに耐へざる時は其の士氣、能率を阻碍すること甚だしきを發見し先づ學童に對し齒科臨床講義を行ふ事に依り之を救治せんと企て此等の學童が入營する頃には能く軍隊の要求する仕事を爲すに耐ふるの健全なる齒を有するに至らしめんことを圖れり是れ獨逸の兵士が目下の如く優勝なる能率を發揮しつゝある一理由なり元來英國の如く大軍隊が主として志願兵より構成せらるゝ國に於ては徵兵制度を執れる國の如く兵士の齒の狀態を統制せんこと頗る困難なるものあり予は戰爭の當初數月間恰も英國に滯在し多くの志願兵の齒を觀察する好機會を得たるが其の大部分は最も不安全なる齒を有するを發見せり斯の如き兵士が軍隊の行糧を咀嚼するに堪へず假令戰線に立つも齒痛若くは欠齒の爲め其の用を爲さざるべきは極めて明白なりしが

▲英軍は果して齒の障害に惱まされたり

こと、其後巴里に於て齒の不完全なる爲め戰線より後送せられたる英國兵を手掛けつゝありし英國齒科醫より聽聞せり、予は英國志願兵の齒の狀態の頗る慘憺たるに深く心を動かされ戰爭破裂の當初未だ十日を出でざる頃予の力の有らん限りを盡して之が缺點を矯正すべく當路者に申出でたれど當時兵士に對する齒科的軍務の組織頗る不完全なりし爲め予の此の方面に於て助力を與ふるの機會を得ざりしが其後千九百十四年十一月に至り巴里に於る米國野戰病院の齒科外科部に關係せんことを求められ三ヶ月間予は此の仕事の爲に一身を委ねたり云々　斯の如く軍隊の士氣、能率に及ぼす齒の影響の極めて重大なる事實は近來我國に於ても漸く識者間に認められ其の結果として齒磨の選擇が當路者の問題に上り陸海軍に於ても粗惡の安齒磨を排して品質最も優秀なるクラブ齒磨の如き高級齒磨の使用獎勵する盛々高まるに至れり

露國軍隊へクラブ齒磨五萬袋の寄贈

齒磨の良否が軍隊の士氣能率を左右すること前述の如く驚くべきものあり齒磨の選擇は實に軍隊の重大事にして輕々看過すべからざる所なるが品質に於て世界一のクラブ齒磨五萬袋を我が帝國と最も親善なる露國の軍隊に寄贈したるに同國軍隊に於ても非常なる喜悅を博し同國皇后陛下より優渥なる感謝の御辭を賜ばりクラブ齒磨本店は眾世の面目を施したりと

■帝國大學前講師にして宮內省御雇たりし有名なる故ベルツ博士の齒磨觀

右の如く最新最良のクラブ齒磨出づる迄は齒磨の多くは頗る粗惡にして殆んど眞の齒磨たる價値なきものなりき其の海外に輸出せられしもの亦少からざりしと雖も中流以上の士は決して之を使用せず殆んど文明國の齒磨と稱する能はざりしなり當時帝國大學講師にして侍醫局御雇たりしベルツ博士は曾て醫科大學教授其他の諸學者に語つて曰く『日本の齒磨は海外にも相當輸出されて居るが品が非常に惡いので齒の爲に甚だ宜しくない實に無責任の品である一體何を原料に使つて居るのか云々』と而かも品質の優秀なること遙かに歐米の高級齒磨を凌げるクラブ齒磨出づるに及びて斯の如き非難は漸く跡を潛め日本の齒磨は初めて文明社會に其の權威を認めらるゝに至れり此のクラブ齒磨は二十種の貴重原料を配合し極めて嚴密なる監査の下に調製せらるゝものにして品質の精良全く類を見ず化學的に齒を强く美しくする理想の齒磨として內外の醫學者間にも最も厚き信用を博しつゝあり。

●陸軍軍醫の實驗談　と最新最良の齒磨

齒の良否が軍隊の士氣能率を左右する事は前揭ポッター博士の實驗談に徵するも明かにして從つて齒磨の選擇は軍隊の爲めなか／＼輕視すべからざる大問題なるが之に就て我が陸軍の某軍醫も亦た其の實戰より得たる經驗を語つて曰く出征中最も困るは粗惡の齒磨の爲め齒痛を起す者多き事にて齒痛は士氣を阻喪すること最も甚だしきものなるが故齒磨の選擇には餘程苦心せりと然かも化學的に齒を强くする理想の齒磨として醫學者間に最も厚き信用を博しつゝある彼の最新式のクラブ齒磨出でゝより軍隊にては積極之を採用したる結果今や全く前述の如き憂へを免るゝに至れりといふ。

●家庭口腔衛生

と題して日本齒科醫學士山中恭氏は口腔衛生學會發行の『齒と生命』誌上に左の如く說かれて居ます

齒磨は如何なる物を使用したらば宜しいかと申しますと現今市場に賣出されて居ます多くの齒磨中でもクラブ齒磨のみは理想的のものを社會に提供せんと努めて日夜研究に怠りのない技師の手によりて改善に改善を加へられて居ますから此のクラブ齒磨を常に使用せられるのが最も安全で且つ必要な口腔衛生の方法であります決して粗製な齒磨を用ゐまして齒牙を磨耗したり齒齦を損じたりしてその爲めに疾病を招くやうなことがあつてはなりませんクラブ齒磨の處方中には主として防腐消毒に効のある藥劑が調合されてあつて粉末の程度も極細末狀でありますから齒牙に損傷を與へることがなく使へば使ふ程齒の爲めになる理想的完全な良い齒磨であります。云々

召上げたる血となり肉となる滋養菓子

ホーカースヰート

大小　定價　拾錢　貳拾錢

ホーカースヰートは麥の主成分に新發見の滋養原料を加味し、更に古來有名な眞正朝鮮人參を應用精製してありますから、品質優良に滋養分の豐富なる事他に比類なく、味はひも亦頗る上品で常に召上れば

■咽喉を整へ、音聲を美しく
■胃腸の調和を好くし
■心氣爽快に元氣を恢復し
■小兒の身體を强壯に致します。

到る處の和洋菓子店、食料品店、雜貨店、小間物店等に取次販賣す　品切の節は直接本舖へ振替又は切手代用にて御注文を乞ふ

本舖　東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店製藥部　振替口座東京二四一一八

婦人科　產科　入院分娩隨意

京城旭町壹丁目　院長　中央婦人病院（電話二三四番）

果樹、山林苗木各種　苗木發賣　平安苗圃

弊園は多年の經驗を以て育苗本數百萬本あり其の種類の正確發育の優良なる事他に比類なかるべし

外に特製剪定鋏、牛田式噴霧器、製造器具、肥料、害蟲驅除器、藥劑に於ける一手販賣をなせり、御希望の方に定價表を進呈す

京城南大門外停車場前通　電話二六四番　振替口座京城一四五五

胃病良藥

●用心深い胃弱家は

飲んで後に害を殘さぬ、ソレ新案の五大要素の合劑製藥、胃活を家庭に備へて、常用するに限ります、先ず今直ぐ御求めあれ

●定價金一圓、六拾五錢、四拾五錢、廿五錢、拾錢、胃活錠貳圓、六圓、五拾錢、廿錢

本舗　東京　山田安民藥房　■全國有名藥店にて取次す

株式會社　朝鮮商業銀行

京城南大門通一丁目

資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟）

諸積立金廿二萬五千貳百圓

一般銀行業　倉庫業

銀行長　趙鎭泰　支配人　豐田明敬

電話五五八、一六八、三八四一番　振替京城一六三四番

南大門支店　電話五四〇番　振替二七二番

本町支店　電話二二九四番

仁川支店　電話八四九番　振替一〇六二番

平澤支店　振替一六〇六番

醫化學器械　藥種賣藥卸商

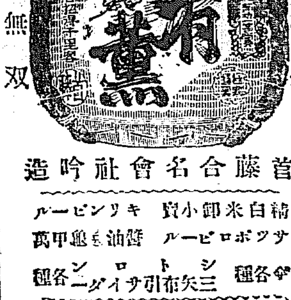
(K)

仁川本町　北島藥店

京城永樂町本町角　北島藥店京城支店　電話二三四。振替京城六七番　電話七六一番

無双醇良清酒

衛生無害　品質無双



首藤合名會社吟醸

精白米御小賣　キリンビール　サッポロビール　醤油も亀甲萬　各種　シトロン　三矢布引サイダー　各種

朝鮮發賣元

首藤京城支店　黄金町（電話一一七一番）

京城日報 KEIJO NIPPO
第三版
大正五年四月十四日 (金曜日) (一)
明治三十九年九月二十日第三種郵便物認可
年中無休刊
十四日朝刊 (夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金三錢 [illegible]
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

朝鮮統治の綱領(二)

京城日報

朝鮮統治の綱領方針が漸次確立するに入り、益々具體的となれりと言へり。其の然る所以に就き、數言の已むべからざるものあり。

明治四十三年十月初旬、總督府の開始當時各道長官に對する總督の訓示と、翌四十四年七月一日始政第二年目に於ける訓示と、而して本年度に於けるものとを、對照比較する時は、吾人の前言の、決して空論にあらざるを容易に看取し得べし。始政の當初に於ける、總督の訓示により之を見るも、朝鮮の實情に對する爲政の方針は、聊か粗枝大葉たるの感なき能はず。然れども百事草創の際、諸般の計畫を樹つる、最も愼重を要し、若しも一歩出發點を誤らんか、後に至りて禍害の大なるものあるも奈何ともし難し。故に當時に於て直ちに具體的政策を定め能はざるものありしのみならず、寧ろ大綱を摑んで事を創めしの、已む可らざるを認めずんばあらず。即ち當時總督の執らんとせし大方針は、朝鮮將來の安寧を增進し、一千有餘萬人民の將來の發展を圖るに在りき。之が爲めには、先づ人民の生命財産の安固を期し、産を治め職を得せしむるに、其の生活上に必要なる施措を計り、次で産業の發達、諸般の施設に及ぼさんとするに在りき。從て徒に理論に偏し、高尚に失する施設を避けて、假令簡單なりとも、成るべく在來形を存する産業を助長するを捷徑とし、先づ人民に職を與へ、生活の途を得せしめ、而して漸進するを以て最も著實なる方針とせり。此の大方針を出發點として、朝鮮經營の大事業は、萬般に亙りて割出されたるなり。

朝鮮經營第一期の初頭に於ける政策を概觀し、其要項を擧れば恩賜金を以て永久に授産の資とし、簡易なる産業を與へ、中央地方の行政制度を整革し、司直治安の機關を整備し、敎育の方針としては、重きを實際敎育に措き、以て人民の生活狀態と地位とを高むるの基礎たらしめ、産業政策に在りては、地方に適する農作物を選定奬勵し、利害の程度大なる山林の保護に力を注ぎ、朝鮮米の品質向上を計り、輸入超過の關係より[illegible]自作自給の根本策を定め、[illegible]の比較的少なきに鑑みて使用を促がし、風土に適[illegible]適して副業として最好適[illegible]發達を計り、果樹栽培を勸[illegible]牛の改良方針を定め、其他萬般の施設經營は、先づ其基礎を作り、根幹を定むるの方針にあらざるはなく、當年の道長官に對する訓示は、即ち施政方針の綱領を披瀝して、施行する所を示せるもの、要するに創業の基本政策に外ならざりし也。

(九) 咸北の農業

東拓理事 村田俊彦

(35)

畜 羊(續)

世界各國に於ける近年の羊の飼育數を見るに、其最も多きは濠太利亞にして、一億萬頭以上、之に次ぐは南米アルゼンチンの八千萬頭餘、北米合衆國の五千八百萬頭弱にして、英本國は一千七百萬頭、佛國は一千六百萬頭、獨逸は五百八十萬頭餘を有す。我國は未だ三千頭弱を出でず。支那本土及び蒙古に於ける羊の數は未だ詳ならずと雖も、蓋し甚多かるべし。蒙古に於ては、各戸大概數十頭乃至數百頭の羊を養ひ、或は[illegible]代に於ける他の國民の如く、羊を以て通貨と爲しつゝありと云ふ。余は張家口に遊びし時も、其市場に於て羊毛山の如く堆きを見たり。羊毛及び羊毛織物の事につき茲に語るべきをあれども、長きに渉るを厭ひて今茲には之を省く。唯一言すべきは、世界に於ける纖維業中、羊毛及び毛織の業は綿花及び製絲業に次ぐ重要なるものにして、漸次此傾向は我國にも傳播するに至るべく、毛織は我朝鮮に於ける家內工業或は工場工業として行はるゝに至らば、經濟上更に一層妙なるべしと云ふことなり。

似滿洲之趣

豚は北鮮に於て多く之を見る。現今咸北に於て八萬頭に垂んとすと云ふ。旅客の釜山より滿洲に入るや、鴨綠江の以南以北に於て異なりと思はる點種々ありと雖も、豚の江以南に少くして江以北に多きことも亦目に映ずるところのもの丶一なり。蓋し江以南の地即ち朝鮮の鐵道沿線地は水田多くして畑地少きが故ならん。江を渉るや幾頭の豚群をなして悠々畦間に食を漁り、或は蠢々たる列車の車聲に驚いて溝渠に陷る等の滑稽を見る。北鮮に來るに及び、殊に咸北に入るに及び、豚兒三々伍々、恰かも滿洲に在るやの感あらしめぬ。豚種は皆在來の者なり。其販路を能く攻究せば農家の好副業物たらん。

戰前及戰後の歐洲 二

法學博士 吉野作造氏談

▽歐洲政局と獨逸 今日獨逸は歐洲の列强を相手に戰つてゐるが英佛露列國各々社會的乃至歷史的の種々な事情があつて思ふ樣にも戰へないで居る。萬一英佛露をして獨逸と同一平面上に戰はんには、獨逸は必ずしも英佛露の敵ではない。元來獨逸は隨分苦しい位置にある。即ち獨逸の强大は決して列國を眼下に俯瞰し得る程ではない。然も列强に四方を圍まれてゐる。是れ獨逸の特色であると同時に獨逸の憂色である。例へば露西亞は南に墺あり西に獨あるを除けば、北東を遮る何物もない。佛蘭西は北東に獨あるのみで他は警戒するに及ばぬ。墺亦然り。然るに獨逸は露佛墺を以つて三方を圍繞せられ、加ふるに海を隔てゝ英の銳い眼が光り、事實獨逸は一刻と雖も晏如たる事は出來ない。茲に獨の煩悶があり茲に獨の發憤があり茲に獨の活動があつた。獨逸の活動があつた。歐洲外交の中心と爲て居つた。愍て獨逸は常に其理由は獨逸が他列强を擺でゝ强大であるからでは無い。

▽外交中心の移動 歐洲外交の中心には無論移動があつた十九世紀初葉に於ては佛蘭西が歐洲外交の中心であつた。大革命から引續いて奈翁一世の征戰と、常に列强は佛蘭西の爲めに團結させられてゐた。十九世紀の中葉、其中心に多少の移動があつたが、奈翁三世に及んで又列國は一致して佛蘭西を制肘するの必要を感じて來た。其れが今から四十五六年前獨逸の聯邦統一以後に於て變化を來した。二十五箇の聯邦が一帝國の名の下に聯結させられたのは法律上千八百七十一年で今から四十五年前である。何故歐洲外交の中心が佛蘭西から獨逸に移動したかと云ふ興味ある事實である。獨逸帝國の成立は言ふ迄もなく普魯西の武力に據るのみならず、其維持亦之を武力に歸せざるを得ない。歐洲の中央に一大武力國が湧出した譯である。且ビスマークが此武力國の基礎を固める爲めに大活動をしたので殊に目立つて見えた。

▽獨逸統一と武力 獨逸聯邦統一の希望、運動は十九世紀の初葉から始められたが、墺國を排除して帝國の成立したのはズツと後である。聯邦統一帝國成立の最後の要點は普墺戰爭にあつた。歷史的の家柄を考へる者には、盟主として墺國を推戴したい希望があつた。併し墺太利には將來が無い、乃ち生氣潑溂たる普魯西に心を寄せる者が少くなかつた所以である。此普墺の勢力爭奪に解決を與へたものは千八百六十六年の普墺戰爭であつた。此普國が老墺を取つて押へ、同盟から排斥して聯邦を統一した。即ち武力が統一した譯である。併し聯邦の常時には尙小障碍が無いでも無かつた。王室との結婚の關係やら何やらで南方三四聯邦は秘に心を墺に寄せ、止むを得ねば佛の後援を得ても聯邦に對峙せんとするの傾があつた。即ち之をも併せ加へんには根本的に佛に打擊を加へねばならない。換言すれば佛の鼎の輕重を問ふの必要がある是普佛戰爭の起つた所以である。無論直接間接原因多々あらむも文明史的に見れば獨逸帝國成立の必要上起された戰爭であると見るがいゝ。獨逸聯邦は斯くて成立したが故に獨逸帝國は武力を以て完成せられたと言へる。

▽獨逸の煩累 武力が單に帝國建設に必要であつた許りでなく、其維持上にも必要であつた。即ち聯邦に加盟はしたもの丶、之を潔しとせず政府に對する反對思想が多かつた。今日尙其現象は大にあるが常時に於ては尙更である。殊に南方諸邦が常に聯邦の歩調を亂した。何でも無い事にくだらない文句を並べたがるのである、例を求むれば幾干でも求め得るが、軍隊の如き獨帝の名の下に統一はされて居乍ら、バヴリヤは別組織である。郵券もバヴリヤは別々のものを造つて居る。大體に於て何たる支障もなく同一結果に行くべきものであり乍ら、敢て異を樹てたがるのだ。政治上にも此傾向は現れ、普魯西の政策に茶々を入れ、獨帝の歩調を亂す。尙困難なのは波蘭、アルサスローレン、丁抹、ハノーバー等各種の人民があつて皆高き文明を有して居て、政府の政策に反對するのだから、中央政府も却々困難な事がある。殊に議會では非常に厄介な問題の出て來る機會が多い。更に厄介なのは天主教徒である。天主教の信徒は全獨逸國民の三分の一を占めてゐる。元來天主教徒は萬事に保守的であるから、獨逸の保守的なのに一致すべき筈であるのに、歷史的の惰勢として怎も一致しない。天主教徒に對する天主教の教權は羅馬法王にあるが法王の權力は無限に强大で遂に皇帝以上である。一體法王は四五十年以前迄は我が九州位の廣さの土地を領有し、宗教上の宗主であると同時に、一國の君主であつた。國務大臣があり。數十箇國と使節を交換し其使節は各國に於て各國の使節中首席を占むる程の權威を持つてゐた。即ち兵力は無かつたが非常の權勢と勢力があり、法王の命令とあれば其教徒は皇帝の命をも快く拒んだ。宗教の信徒は何處にしても左樣だが、殊に南方あたりでは農民が室內に皇帝の肖像は揭げずに法王の肖像を揭げてゐる位の仕末だ。隨つて是等の教徒に據り選出された國會の議員は、盛んに政府に反對する。

日報歌壇

□人形の主へ　京城 幻花

三十路して家を成さゞるをみな子が人知れずこそ抱く人形

裏山に小鳥の啼く日啼かざる日人思ひては人形を抱く

別れなばまた明日よりは人形と淋しく山の冬逆るらん

松を吹く山の夜風を聞きながら人形と寢るか今宵も

人形のかたき瞳を見つめ居て心暫く動かぬ夜かな

美しきかの人形の髮の毛を撫でつゝ君の語りつること

ひとり居のすさびに抱く人形に遂らぬ戀を語る君かな

□葬列より(山崎氏に)　京城 觀村可麿

深き夜に棺を閉づとて釘をうつ音が戶外の雪に響ける

あまりにも悲しからずやパンの如く人のひとりが燒かれぬるとは

雪白き麻浦の火葬場を下りんとし顧る目にかなし煙が

麻浦の火葬場、雪の地上にかゞまりてわれら烟を眺め居にけり

人ひとり死したる後の靜かなる町をひそかに夜の風ふく

大阪三品

四月限 二九、九〇 [illegible]

下關期米特電

[illegible]

▲依然低調 [illegible]

[illegible] 十一圓廿二錢 十一圓十三錢 二萬五千五百石

●渡船場荒らし 京畿道高陽郡[illegible]漢芝面漢江里生れ李正伊(二)及び同里李興文(三)の兩名は本年一月四[illegible]

五名家箴言集
ニイチエ イブセン ワイルド フランス ムーア
珠玉抄
天分外先生序 松本苦味著 總羊皮美裝
▽ポイント組三百七十頁 ▽定價九十五錢 ▽送料六錢
惠風仁露に狩する如き金訓玉話、寒時寒殺し熱時熱殺する底の險言鬼語、肺肝を貫く警言毒語、警世諷刺一讀駭心再讀過去を反省し三讀當來を警む、精神の糧として之を薦む
(發兌) 東京日本橋區本銀町 文正堂 振替東京二五〇八
(發賣) 京城 大阪屋號 振替京城二五七三 電話二〇八六番

ツルゲニエフ著 松本苦味先生譯
春の木
定價五十五錢 送料金六錢

新刊雜誌 週讀會 八
京城本町一 電一三七八 松井松榮堂

タングステン高價買入れ仕り候
□□□重石鑛〔十パアセントより七十パアセントまでの品高價現金買仕り候〕
□□□優良なる〔七十パアセント以上の品は一斤三圓替にて何程にても申受け候〕
□□□重石鑛主〔にして代金前拂御希望の方には鑛夫賃金並に諸費用立替申上候〕
□□□弊店は〔唯だ重石鑛のみ希望致し候間價額は充分の御相談仕るべく候〕
京城貞洞二十五番
ジヨージ、アーレン商會

鑛山用測量諸器械
京城本町 シサキ

日韓書房
新版報告
竹中鑑之助著 母の道と育兒 定價六十錢 送料八錢
竹中鑑之助著 結婚と安產 定價六十錢 送料八錢
長篇講談六卷 天一坊村井長庵 定價三十錢 送料六錢
佐田信太郎著 心理應用 賣る法買はせる術 定價七十錢 送料八錢
大町桂月著 一喝錄 定價八十五錢 送料八錢
京城本町二丁目 電話一四二七 振替口座五二一五番

銀行會社 官吏鐵道 員養成 講義錄
速成四ヶ月卒業 會費一圓八拾錢 校則進呈 東京芝公園 大日本國民通信學校
卒業者は各自希望通東京は勿論全國へ直に就職せしむ

四月十五、十六、十七日の三日間
仁川宮町竹園館に於て
三越の出張大賣出し
春衣新柄並によせぎれ見切反物其他流行品澤山取揃申候
(越)
京城 三越呉服店

支部設置
東京國債株式會社朝鮮支部
京城明治町壹丁目四六 電話一五五四番 電信略號(テセン) 振替京城三五二七
資本金 六拾萬圓
社長 阿部浩
支部長 百間瑳治郎
常務取締役 志水美英
常務取締役 辻川敏三
顧問 男爵 園田安賢
營業科目
諸公債有價證券賣買
有價證券及動產不動產擔保貸付
國債簡易販賣
國債社債並に地方債の引受及其仲介
一、本社設立 明治四十三年八月
一、契約高 壹千萬圓餘
一、本社の支部、出張所等は日本全國到る處にあり
一、姉妹關係の東京國債銀行も追て支店開設の見込
東京日本橋區本材木町河岸(開運橋際)
東京國債株式會社

(見本進呈)
日本荷札
◎品質ハ機械製ナル故申迄モナシ
◎製產力ハ實ニ東洋唯一
東京市神田區和泉町 日本荷札製造合資會社 電話下谷三四〇二一番 振替八八四九番
(特約店募集)

東京竹內製金庫の堅牢確實なるは既に世に定評あり
◎金庫を使用せざる人は財寶を貴ばざる人なり
◎財寶即ち生命なり 金庫は遺憾なく之れを保護す
特約販賣店 和洋金物商
鬮釘本藤次郎本店
京城本町二丁目 電話二五七四番 振替貯金京城二五六番
○御申越次第目錄進呈す○

優良種子純正苗木販賣
水原停車場前
富園
主任 農學士 北澤小八郞
營業案內進呈

○蔡鍔の和議條件

陳宧和睦を望み蔡の條件を報告

成都來電に據れば陳宧は蔡鍔と協議の上停職し和議を諾らんとしつゝあり蔡鍔は袁總統の退職及び引退を要求し其の後平和の和談に預るべしと主張し陳宧は蔡鍔の要求を北京政府に報告し若し之に應ぜざれば四川省は獨立するに至るべしと報告せり（北京特電）

○杭州獨立と上海

杭州は十二日午前三時獨立を宣言し軍隊は鐵道停車場を占領し嘉興に支隊を派遣せり同支隊は上海行の汽車に乘じ戰はずして松江に至れり杭州の獨立は上海市民を驚倒せしめたり共和黨は先づ福建湖南を獨立せしめんとしつゝあり浙江は一萬の北軍が上海に到著せりとの報道を得て其の獨立を早めたるものなるべく而して其の後北軍は召還せられたるを以て陳其美が急遽の攻撃を企てざりしとせば上海附近に駐屯せる三萬の軍隊は言ふ迄もなく叛軍に投せしならん（上海特電）

○南京獨立と鐵道不通

上海の某外國汽船會社に達したる電報に據れば南京は十二日獨立し南京上海間の鐵道は鎭江以西不通となりたり（上海特電）

○ヴ要塞獨軍の配置

獨軍今後の作戰に就て苦慮す

倫敦タイムス軍事通信員はヴエルダン攻撃に參加せる獨軍の編成及び配置に就き報じて曰く獨軍は八個師團半の軍隊をミユーズ河の左岸に二十二個師團を其の右岸に配置し豫備隊は僅かに二個師團に過ぎず其他は悉く戰鬪に從事し居れるが一般に多大の損害を蒙り十二個師團は戰線より取り除けられたり尤も之れが損傷は間も無く補塡せられたり而して獨軍の戰況に就ては西部の戰線に於て攻勢を採る能はざるは明なるもヴエルダン及びゾンメの北方に於ては二個の有力なる兵力を有せり其他の戰線に於ては強固なる位置を維持しつゝある英軍に對し今後の作戰に就て苦慮しつゝあり尚英軍の不活動は獨軍の必死的戰鬪を誘起するに至るべく佛軍はヴエルダンに於て敵に充分なる對抗を爲し得可し英軍は獨軍を攻撃する事なくして而も獨軍の二十四個師團を牽制する事を得べしと（倫敦電報）

○米船擊沈と獨の回答

在伯林米國聯合通信員の報ずる處に依れば獨逸が米國に送れる回答の要領は四隻の船舶は獨逸潛航艇が擊沈したるに相違なき旨を承認したり擊沈の理由は四隻の船舶が停船要求の信號を無視せるに依る而してサセツクス號に關しては當時同船沈沒場所附近にて或る汽船を擊沈せるも獨逸政府の手に在る諸證據に徴するに該汽船はサセツクス號に非ずと云々（紐育電報）

○東蒙不穩の形勢

段將軍は東蒙古不穩の形勢あるを以て吳鎭守使に對し示威運動として騎兵六百名を率ゐ邊疆を巡視すべしと命せり（奉天特電）

○山縣元帥病狀

小田原古稀庵に靜養中の山縣元帥の病氣は一時輕快に赴きたるも頃日來稍宜しからず大隈常信氏は首相代理として十三日同地に赴けり（東京特電）

○後備退役發表

陸軍少將加藤政義、太田榮次郎[illegible]徳以下百七十名の將校同相當官も今回後備又は退役となり[illegible]

○醫任免

十三日左の[illegible]發表あつた

[illegible]（東京特電）

陸軍々醫學校教官兼陸軍大學校教官陸軍二等軍醫正醫學博士　稻葉良太郎
任陸軍一等軍醫正
陸軍々醫學校教官陸軍一等軍醫醫學博士　岩田一
免本職補近衛師團軍醫部長

○商議聯合大會

十三日午前十時より東京商業會議所に於て第二十二回聯合大會を開き內地朝鮮六十會議所代表者百四十名出席議事に先ち長岡國民飛行會長臨場し歐米に於ける飛行界の現狀より歐洲戰亂に於ける飛行機の活動並びに同會設立の趣旨を說明し列席者の入會を慫慂したるに一同即席入會を誓ひ各自地方に於て公聞に於ける智識の增進に努力する事とし午後より大隈首相添田總裁の演說あり（東京特電）

○政務總監著發

山縣政務總監一行は十三日夕釜山著連絡船にて東上せり（釜山特電）

○吉野博士講演

吉野法學博士は十三日夕釜山著日本基督教會にて講演を爲したる後同夜歸京せり（釜山特電）

○日露電信增加

京城局取扱一箇月一萬通

日露間電信の朝鮮中繼は大正三年十二月の開始に係るが其の東京浦鹽間は京城元山淸津等の中繼局多かりしに拘はらず料金低廉なる爲め大北電信會社の浦鹽長崎線釜山電報の朝鮮經由線に移るもの多きと歐戰以來日露間に於ける經濟上の關係密に趣きたる爲め大正四年一月三千五百通內外のもの四月に至り五千六百通に增加し七月には六千六百通に上り更に十一月には七千八百通を算する異常の激增を來し更に本年一月より元山淸津の中繼を廢し京城浦港間直通とし其の速達を圖るに至りしより一月は九千通二月は遂に一萬六百通二十三萬語に達せしが三月及び四月は尙ほ頗る增加し居れる模樣なり而して鮮露間電報も漸次增加の傾向あれど未だ其の數は多からず發著共に東京大阪横濱神戶ペトログラード、莫斯科、浦鹽等頗る頻繁にして殊に東京露都間の電報は頗る長文のもの多しと

○調査局と地形圖

臨時土地調査局技師課に於ける地形測量の終了せし地方は其の製圖を急ぎ之れを參謀本部陸地測量部に送り同部の手に印刷及び發行を委託し居れるが全鮮中各府及び都邑四十五箇所は一萬分の一五色刷の精密美麗のものとし其他の地方は經緯度別にし五萬分の一として發行する由尙ほ既に平壤府は印刷出來し近く南浦義州馬山鎭海釜山も出來すべく京城府も年內には刷出の豫定なりと

○上旬鮮鐵運輸

四月上旬に於ける朝鮮鐵道運輸狀況及び前年同期對比左の如し（△印減少）

	本年度	前年度對比
乘車人員	一五五、八六七人	一、六二五人
小手荷物	三七三、六三七斤	△一五、二〇〇斤
貨物噸數	四四、四二九噸	五、六二七噸
客車收入	二二、〇六一圓	△二五五圓
貨車收入	二一、四六六圓	四、一〇一圓
運輸收入	四三、五二七圓	三、八四六圓
一日一哩平均	一二三圓一〇錢	△一〇錢

○清酒と防腐劑

サルチールサンの供給と其使用上の注意

從來淸酒の防腐劑として多大の需用ありしサルチールサンは時局の爲め昨今價格暴騰して一封度十圓以上を唱へ居れるのみならず征露品殆んど拂底の爲め途に供給の途無き狀況を呈せるより內地にては大藏省の斡旋に依り日本釀造協會は三共製藥會社の製品全部を引き受け之を各地の酒造家に分配して漸く其不足を補ひつゝあるが朝鮮に對しても一磅七圓二十錢の價格を以て分與す可しとの事なれば酒造組合等に於て各地の希望者を取纏め交涉せば市價以下にて容易に購求し得べし然れどもサルチールサンの投入期は既に過ぎて多少季遲れの氣味あり、從つて今に於て之を購入するとも效を奏さざる如く思惟する者あらむも其使用法宜しきを得ば充分の效果あり、即ちサルチールサンを少量の精酒中に投じ之れに熱を與へて充分溶解せしめたる後此サルチールサン溶解酒を四斗樽若くば貯藏桶中に投せば藥の溶解非常に容易にして時期遲れを恢復するのみならず非常の効力あり、而して其投入量は淸酒一石に就き十匁を限度とする事從來の通りにして何等の相違なしと、因に造酒家は往々サルチールサンを其儘酒造桶中に投入するものあれど、斯くては酒の冷氣に依りて充分なる溶解力を發揮する能はず、防腐の効少なきのみならず往々桶底に沈澱せるを以て其下方より之れを取り出せば多量のサルチールサンを含み取締規則に違反の嫌ひあり、最も注意す可しと尙此に關し詳細は中央試驗所に就て聞くを便とする由

○仁川の產業界

三月中仁川精米工業は未だ充分に內地相場に出合を見るに至らざれど各精米所共精搗手控へ勝に從業しつゝあり●染料工業も依然として不景氣なるが[illegible]に比し[illegible]●醬油製造業は春期の需要期に入りたるも[illegible]●造川東原鹽の輸入も[illegible]連絡して生產に從事しつゝあり相場は伸びなく百斤一圓五十錢見當を唱へつゝあり●三月中新安州より大阪へ輸送せられし雲山金塊は二十二萬七千九百餘圓逐安金塊は十二萬五千四百餘圓にして雲山分は五萬五千四百餘圓逐安分は四萬七百餘圓孰れも前月より減少せり●水產業は未だ時季に入らず依然として閑散期中なりと雖も水揚は六千六百餘圓にして前月に比し五百餘圓を增加せり種別は鰮の漁獲少かりしも沙魚、鯔、鰈等可なり豐漁なりし

○群山客月經濟

▲金融狀況　三月中の金融概況を叙せんに米價は前月來引續き軟調を辿り騰貴の材料に乏しく目先容易に恢復の兆を見ざれば只僅かに急用目の需要を充すのみにして資金の需要更に起らず至極閑散の狀況を示せるが中旬に至りて內地勘米稍々商値を唱へたるを好機として只管先高を氣構へ持堪へつゝありし向も打續きたる不勢に幾分嫌氣を催し弗々ながらも移出を見るに至れりされども大勢には格別の影響なく依然緩慢の狀態を持續せる輸入商側に於ても商品暴騰の結果却て賣行を阻止し地方農民の購買力を減殺せし折柄捗々しき資金の需要なく貸出金は寧ろ回收一方にして至極沈滯の裡に越月せり預金利は大勢に鑑み二厘方の利下を見たり

▲貨物集散狀況　三月中の貨物集散狀況を見るに輸移出總額は七十二萬八千九百二十九圓にして前月に比し十六萬零七百七十三圓を增加し輸移入總額は十四萬六千百五十二圓にして前月に比し一千二百八十一圓の減少を示せり今大體の趨勢を見るに米價引續き下押氣味なるも四月一日より運賃率改正と中旬頃の高値に誘はれ多少の輸移出を見たり然るに輸移入に於ては前月來の商品暴騰の爲め鮮人の購買力減少し只砂糖食鹽其他日用品の輸移入增加を見たるのみにして大體に於て減少を示せり

■三月釜山連絡船

三月中關釜連絡船客乘降統計を見るに出港船回數五十一回此の乘客合計九千百七十名內譯內地人八千七百四十四名、鮮人百六十二名、支那人二十名、歐米人二十三名、入港船回數五十一回此の降客合計一萬五百四十二名內譯內地人一萬三千三百十七名、鮮人七十四名、支那人十名、歐米人百十七名にして乘客等級別は一等二百五十九名、二等一千三百九十八名、三等七千五百十三名なり而して之を前月に比すれば乘客に於ては二千五百九十二名の增加降客に於て三千零九十九名の增加を示す乘船客の多きは氣候の溫暖に向ひしと京都御大典式場拜觀等の爲めなりと又降客に於ける好況は內地より益々鮮地に入込來る就業者の增加によるものなるべしと

○三角測量完成期

臨時土地調査局に於ける大小三角測量の外業は昨年末を以て終了し其後調査局にては內業に關する計算事務を續行しつゝあるが此分も六月に終れば豫科表を作製し十月末までに目下技術課の三角測量事務は完成を告ぐる由

人事

▲[illegible]氏（慶北道[illegible]）入京中[illegible]
▲廣江澤次郎氏（[illegible]）[illegible]
▲藤本元治郎氏（[illegible]）十三日夜入京不知火旅館へ
▲ピンチ氏（米國商人）十三日夜入京朝鮮ホテル
▲アール氏夫妻及び令嬢（同）同上
▲リンゼイ氏夫妻（同）同上

■南言北語■

獨逸では異望的のない潛航艇を造る相な▲現在の所望鏡を海上に現はして横行するので一寸へ手が付けられぬのに今度はズブリ沈んで仕舞ては益々手にをへぬ代物になる▲而して主として商船を狙つて居る處は草澤に隱れて好餌を待つ館同樣だ▲軍艦は海上の主人公で商船は細君だ▲細君ばかり狙う獨逸の潛航艇は則ち海の色魔だ不良少年だ▲列強は一日も早く此の不良少年をトッチメる必要がある▲ヴエルダン戰が片付いて六月頃から總攻擊の活動を始めるなんてイヤ何うも氣の永い事だ▲幾何春の日永だつて左う氣が永くつては何時の間にか花を根こぎ取つて行くよ▲歐洲側ではハラハラする程氣が永いが日本の政黨連は政戰の爲春日尙ほ短かしと云ふ風である▲政友、同志の親玉連もお江戸の花に負いて九州や四國遊說の黨勢擴張に出掛た▲原政友會總裁が九州を遊說して大擴張をやると聲明すると▲尾崎法相は早くも熊本に乘り込んで在野黨の無氣力と何とか大氣焰を揚げて居る▲箕浦武富兩大臣も各々郷里に歸つて與黨大擧遊說の準備中だとも云ふ▲加藤同志總裁は土佐行きの途中原總裁を罵つて居るなんて▲春風四月九州四國は時ならぬ烈々たる活氣を帶びて居る處は時候に似合はぬ▲其れも結構イヤ此方ぢあ牛耳洞の櫻も此の月末には滿開だと云ふ悠々花見でも仕らう▲花雲全鮮を包んで春風駘蕩春は春らしくあれだ何事ぞ花見る人の長刀がねハッハッ、、、

道長官歷訪

□顧みて他を語る　子寶の事

松永京畿道長官

▲新任匆々の道長官會議で少々まごつきましたよと二十二貫五尺四寸からの體軀を搖かせて笑ふ、一應平壤に歸つて家族を引纏めた上十八日に歸つて來るつもりで居ます▲京城は官邊は申す迄もなく民間でも岡正矣君、原田金之祐君、杉山孝平君などは十數年來の舊知だから新任と云ふもの丶自分の土地に歸つた樣な氣がするマア何分宜敷と云ふ方ですね……▲何しろ赴任して來るにしても消極的な產物が多いので一通りぢやないんですよ[illegible]子供が七人もあるんだから困りますよと云ふ（[illegible]七人でも六人迄は女で一人は今年女學[illegible]）

[illegible]▲どうも御覧の通り體が肥滿して居るからして平壤では時々御社の勝村君や別府君と自動車で郊外に出掛たものですが當地でも盛んに附近の田舍を見物して見ようと思ひます」と云ひながら自動車散歩の時に撮影した十數枚の名刺形寫眞を名刺入れから出して見せる[illegible]

□來年頃共進會を咸南に

申咸南道長官

▲咸鏡南道の地は海にも山にも無限の富を抱擁して居る、御承知の通り畜牛も約十六萬頭居るし明太魚も昨年から年額百七十萬圓の漁獲があり鯨も捕れるし鑛物も出る、それに名物の元山大豆は米國輸出で十一圓臺を動かぬ有樣、工事中の咸鏡線も著々出來上るし日本海橫斷航路の實現も遠き將來では無からう▲何分にも從來中央山脈のお蔭で京城との交通を遮られて居つたけれど京元線開通後は非常な變り方である、また元山に於ける輸出入の統計を見るに從來常に輸入超過ばかりであつたのが昨年からは約三四十萬圓の輸出超過となつたのは悅ばしい事である▲次に咸南の地は將來日本內地の信用の如く一般に產業の稱者を以て起つであらう、▲道廳では毎年二百五十萬本許りの桑樹を植えさせて居るが今二三年も經てば非常なものにならうと思ふ▲幸ひにも昨年の共進會を見物して以來鮮人の頭が一般工業的に進んで來たやうだから官廳の施設も盛んにやれるので非常な好結果であつた▲來年頃はわが咸南に於ても共進會を催ふしたい考へである

鑛業出願（前承）

京畿道[illegible]部 [illegible]

▼慶尙北道聞慶郡

▲金銀鉛　▲黑鉛　▲タングステン水鉛　▲タングステン　[illegible]

開店御披露　純宇治茶を一度御風味願上候
宇治　茶　並に茶器
雅味ある京都茶器を御愛用願上候
京城本町二丁目　淸心堂　電話二千五番　振替京城三五一八番

新刊書御案內　大阪屋號書店

書名	著者	定價
朝鮮總督府職員錄	總督府	六〇
耶蘇傳	上澤謙二	一、五〇
神人論	[illegible]	二〇
[illegible]一日一若謙語	[illegible]	一〇
死後は如何	[illegible]	一二〇
通俗禪道講話	忽滑谷快天	一、〇〇
心の鬪	稻毛詛風	九五
株式期米相場必勝の新研究	相場必勝研究會	二、〇〇
論理學概要	[illegible]	一、〇〇
大正政局史論	德富猪一郎	二、〇〇
農村自治要義	山崎延吉	三〇
洋酒飲料調合法	[illegible]	一二〇
化粧と美容	山本鎭三郎	一二〇
安易生活食物活用術	[illegible]	六五
中山大納言	碧瑠璃園	九〇
楠正成	渡邊霞亭	一二〇
戀愛の人なよし子	[illegible]	三八
酒と戀と女	猪股平一郎	五五
女ロマンスやなぎ生		三八
解剖刀下女百態	生田蝶介	三五
うきよ（二）	柳川春葉	各一三〇
花柳病と其豫防法	矢島守男	一、〇〇

京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三番

朝鮮總督府
一古金物及古雜品類
右拂下ク詳細ハ四月十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

法人及商業登記公告
株式會社三越吳服店ハ第壹回社債額金四拾萬圓ノ內金八萬五千圓ヲ大正五年參月參拾壹日及四月壹日ノ兩日ニ償還シ社債殘額ヲ金參拾壹萬五千圓ト變更シタリ
右大正五年四月八日登記
私立進明女學校理事小杉彥治ハ大正五年四月七日其ノ住所ヲ京城府桂洞百貳拾八番地ニ移轉シタリ
右大正五年四月拾日登記
京城地方法院

法人變更登記
一、[illegible]地方金融組合登記事項中出資ノ總口數ヲ四百四拾八口出資ノ總額ヲ金六百圓ト變更ス
右大正五年四月拾日登記
京城地方法院春川支廳

土木建築業諸兄は特に御愛顧を乞ふ
大正五年の新事業！薄利にして丁寧迅速なるは當所の特色！
諸機械器具其他金物類一切
龍山漢江通り十一番地　五龍鐵工所　所主　大高虎吉　電話六三六番

長壽の靈品は　ヨーグルト
荒井の牛乳　滋養と健康の母は
京城若草町　荒井牛乳販賣部　電話一〇〇四番

安くて、うまい　新案　ハイカラどんぶり　金二十錢
遠近に拘らず配達仕候間是非御用命願上候
南大門通三丁目　カフエータイガー（電話二五七二）

[illegible]共進會受賞
京城太平通二丁目　遠藤商店　電話九八二番

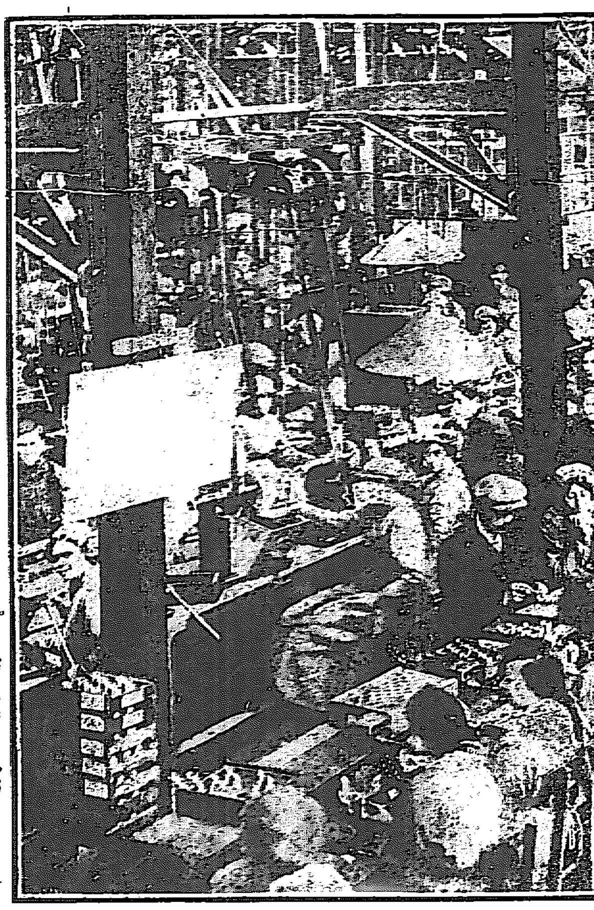
滿鮮第一　漬物味噌問屋　嶋屋本店　京城岡崎町

ヨキニカケテムシタムギ
エイセイジヨゼヒメシマセ
大福麥　（電話にて御注文は多少に不拘御届仕候はがき御注文は切手代用返信も申受候）
京城南大門外　池田製麥所　電話七五九

金牌　龍
京城出張所　電話二四五五番

新柄　御花見半襟　造花材料品揃
京城本町二丁目　松菊屋小間物店　電話二四六三

營業案內
京城春川間乘合自働車　片道賃金四圓
○京城發…午前七時　○春川發…午後二時
京城水標橋五十番　京春自働車商會　電話三三八



英國の軍需品製造場

◉憐れ地洋丸の最後

風浪に掀飜さるゝ十餘時間運命を天に任す＝門司歸著遭難者談

地洋丸遭難者中三等機關士以下乘組員百五十三名十三日朝英國汽船イースクン號にて門司に著したるが乘組員の遭難談に曰く地洋丸は去月三十一日午前四時三十分濃霧の爲めクマー島に衝突し乘客三百餘名は同八時三十分救助に來れる英國驅逐艦ホワイト號に助けられたるも其の後風浪高まりたるより同夜乘組員一同はクマー島に避難する事となりしが島は斷崖絶壁にして而も積荷の重油海面に流出し狹き歩み板は油にて滑り危險云はん方なかりしも折柄我が笠置艦より照す探海燈の光りにて漸く島に到り風雨波浪を彼りつゝ運命を天に任しつゝある間も無く船體破壞し今は其の望を失ひたるが翌てホワイト號は島の背後より繩梯子を吊し吳れたるより漸く其れに登り一命を全うしたる次第なり避難中支那人三名は浪に浚はれ行衛不明となりたり船長機關士等は一行に後れ五日頃香港に引上げし筈なり（門司特電）

◉清津税關本館燒失す

損害約七千圓

十三日午前十一時清津税關より火災起り本館建物全燒せり原因は小使室の煙筒より發火せるものにして器具書類の大部分は持出したるも損害約七千圓の見込みなり（淸津特電）

◉顔を柱に叩きつける

京畿道高陽郡漢芝面梨太院生れ當時龍山靑葉町三丁目居崔挽金要（二八）は大正元年頃忠清北道出稼中同地居住の權阿只なる女を内縁の妻として一旦靑葉町に連れ歸りて同棲中大正二年二月頃に至り再度家出して音沙汰なかりしが本年三月二日頃飄然歸宅したるに權阿只は既に隣家の朴永市の妻となり同棲し居ること聞知し同月十五日同人方を訪ひ其不都合を詰りたる際却つて權阿只に逆捻ぢを食つたるを憤り突然同女の髮を引つ摑みて引倒し顔を門の柱に叩きつけて治療十日を要する創傷を負はしめたる爲め京城地方法院に於て笞六十の處分となりたり

◉食物に毒を盛る

良夫を嫌ふて

慶南密陽郡下同面三浪里居住の笙製造業崔順伊（二七）は大正四年陰十二月夫李文伊の元に嫁ぎたるが結婚後風波絶へざるより本年陰二月崔は離婚の意思にて逃走せんとせし處を夫李文伊に取押へられ再び同棲し居たるも元來好まざる夫のことゝて彼れを嫌ふの餘り遂に毒殺せんと決心し父崔業伊が豫て所持し居たる朝鮮毒藥砒素の一部を窃に盜み茅衣の紐の中に隱匿し居たる所本年陰四月七日實母金玉義（三八）が發見し紐の中にあるものは何物なるやと尋ねたる處夫を嫌ふの餘り毒殺し他に再嫁せん目的にて右に使用する心算なりとて其の用法を强て習ひ四月八日李文伊の食事の食物中に混入して食せしめたるに少量なりし爲め其目的を達するに至らず翌九日再び朝食中に服せしめたる李文伊は甚だ苦痛を覺え身體衰弱せるを密陽憲兵分遣所の探知する所となり四月九日崔順伊、崔業伊は自宅に於て逮捕せしも金玉義は梁山方面に逃亡せる形跡あるに極力搜採中なりしが四月十一日梁山郡下西面浦洞にて逮捕され檢事局送りとなり因に李文伊は身體衰弱せしも生命には何等別條なしと

◉山中で斬殺す

咸南永興郡順寧面龍川里三統七戸金炳浩（二二）及び同所三統六戸朴昌協（三〇）の二人は同面鎭興里居住盧永化なる牛皮商人を殺し金錢を奪ひ取らむものと兩名共謀して同月二十三日盧永化に金子を携帶外出せしむべく誘はんものと豫め牒し合せ共に盧永化方に至り面會し金炳浩は曾て面識無きを幸ひ盧永化に對し自分は原川里に牛皮二百斤を有するに依り買ひ度しと盧永化を欺き翌二十四日鎭興里に於て三人會合して原川里に行かんと永興郡福興里上馬山里に至るや右兩名は人目を避くる爲め近路なりと稱し人通り少なき同里仁洪面南星巖里張得漢所有の山林内に連れ込み炳浩は洗濯棒を以て又昌協は斧の杆及び錘を以て永の頭部を亂打したる上洋刀にて咽喉部及び顔面を切りて遂に死に至らしめ其上所持の二十二圓を奪ひ取り兩名にて分配したる事永興警察署に於て探知する處となり逮捕取調の上當時兇行の用に供したる洗濯棒等を他人より窃取したる事並に前記永化より金錢を詐取したる事發覺したれば强盜殺人、詐欺取財、窃盜罪として元山法院支廳にて取調中

◉盲目泥棒の戀

他人の女房に懸想して毆らる

江原道旌善郡東面瓦坪里卜者崔大賢（三八）は盲目にして窃盜犯の前科ある者なるが本年舊二月二十一日夜十二時頃原州郡建登面寬山里金守德長男元民の妻張姓女に懸想して同人方松垣の間を潜り拔けて同女の居室に侵入したるを同女に毆打されて逃走し此度は同郡地正面安昌里除神通の妻朴氏を襲撃せんと四月一日午後十二時頃同家の表戸を押開きて侵入したる際金神通に取押へられたるものなるが尚同人は同日同面安昌里に於て里民十數名に對し夫婦間に子の無きは魔神の祟りなり或は各人の吝嗇に依り運勢の判斷をなすべしとて虛妄の言を弄して里民より五錢乃至二十錢位の謝金を取りたる事發覺し此程所轄原州憲兵分隊に檢擧せられ京城地方法院原州支廳に於て懲役一年及び拘留二十九日の判決を言渡されたるを不服とし京城覆審法院に控訴申立てたり

◉荒繩で縛つて毆ぐる

亂暴なる支那巡警

東淸鐵道老少溝附屬地の藥商熊本縣人平野繁勝（三五）は去十一日豫ねて顔馴染なる一支那人に藥價約一百三十吊文の賣掛を爲したるに翌日に至り該支那人再び尋ね來り昨日の藥品は少し買ひ過ぎたる爲め途中紛一物となり困却し居れば何卒買ひ戻し吳れと言ひたるに付平野は快く承諾し百三十吊文を全部返與し後にて支那人より受取れる藥品を取調べたるに悉く僞物なるより平野は吃驚し支那側方面に追跡し十里馬家子まで來りたるを支那巡警の爲めそと密賣者として捕へられ散々毆ぐられたる上荒繩にて縛せられ五日長春領事館に送致し來りたりと（長春）

◉放火から露顯

婦女誘拐者逮捕

全南靈光郡法聖浦に近來原因不明の火災頻々として起り去月七日も同面外里金召史方裏手の松葉に放火したるものあるより嫌疑者として同郡陳良面中里丁尚燮（二四）を取調べたる所放火の證據は不充分なるも同人は昨年舊六月同面下里金韓植の妾吳敬順（二二）を誘拐し成平面大内里憲兵補助員金奉年の妻南宮姓（二八）を誘拐せんとしたる事あり同人は常に美服を纏ひ徒食して婦女誘拐を常業とせる爲め村民より蛇蝎の如く嫌はれ居れるが去る三月廿三日同面栗木洞權正元が町より籾十二石を預り居る旨の證書を僞造し同面下里朴根學より白米二升を詐取したる事分明し檢事局に送られたり

◉貧民に籾百石

全北の慈善家

全北扶安郡乾先面江東里盧金三汝氏（二一）は舊韓國政府時代郡正を奉仕したる事あり郡内屈指の富豪にて性來慈善心に富み去る明治四十三年三月郡内三面の貧民に對し一戸に籾五升を施與したる外去る大正二年の三月にも郡内の窮民に米穀を施し又た同年四月苗浦在住の貧民の戸税百十七圓を代納し凶年には小作人を勞はり土米を免除するなど其の篤行數限りなきが今回又た郡内の各面長に依賴して各貧民に對し籾百石麥五十石を施與したるより貧民は同人を神樣の如く尊び居れりと

◉全北臨坡産業組合の倉庫燒失す

十二日午後一時全羅北道臨坡郡臨坡産業組合事務所より出火同三時鎭火倉庫及び叺燒失せり損害一千三百二十四圓人畜の死傷なし

◉露國船員火傷

釜山入港中なる露國汽船ナホカ丸の船員イワノフ（二八）は十日午後三時頃機關部にて作業中瓦斯破裂の爲め面部を初め全身に治療約三週間を要する大火傷を蒙りたるに直ちに琴平町三圭堂病院へ入院したるが同船は同日新高坡へ向け出帆の筈なりしも之が爲め延期せり

◉夫を嫌つて放火

江原道春川郡北山外面水山里張祚（二一）は十四歳の頃同道麟蹄郡麟蹄面雉田里朴龍と結婚同棲中家人及び夫と不和を來し離婚せんとせしも夫の承諾を得難きより淺墓にも大正三年舊三月十五日夕刻居宅炊事場裏手の壁に積みありし枯草に放火し居宅の一部を燒毀したるも何目的を達せざるより大正四年舊四月中に到り同里朴龍柱に再婚したる爲め檢擧せられ京城地方法院に於て公判に附せられ十五日言渡しある筈

◉洋傘一本で六箇月

京城西大門生れ當時高陽郡高陽面孔德里生れ朴淳根（二三）は窃盜前科一犯の者なるが三月二十六日午前九時頃京城明治町一丁目岩佐某方にて洋傘一本（一圓五十錢）を窃取し京城地方法院にて懲役六箇月の處分となる

◉石炭泥棒處刑

京畿道高陽郡龍仁面東幕生れ金永根（四一）は窃盜前科一犯の曲者なるが三月二十四日より同二十九日迄に三回龍山元町四丁目に於て某商會の貯炭場より石炭三叺を窃取し京城地方法院に於て懲役六箇月の處分となる

◉井戸に投身す

京城昌信洞勞働者完成妻金姓女（二〇）は生活難の上に夫が病身にして大酒を呑むより愛想を盡かし十一日午後零時半頃同洞の共同井戸に投身して自殺を企てたるを附近の者が發見し即時手當を加へし爲め生命に別條なく鍾路署の警官檢視の上療養せしめ居れり

◉硝子泥棒の處刑

住所不定の乞食金五丁（二二）は三月中前後三回に京城黄金町外二箇所にて空屋に侵入し硝子障子の硝子合計八枚を窃取したれば京城地方法院にて懲役六箇月を云渡さる

◉青年會音樂會

京城基督教青年會及び朝鮮中央基督教青年會は音樂趣味鼓吹の目的を以て相聯合し十四、五兩日鍾路青年會に於て音樂會を開催し十四日は京城の日鮮官民有力者十五日は兩青年會々員及び其家族を招待する由なるが演奏曲目は二部十七番に分ち演奏者には目下滯京中なる音樂學校卒業の聲樂家山下禎子孃天野、竹村兩女史其他内鮮外人ありと

◉丹羽清次郎氏入院

京城青年會總幹事丹羽清次郎氏は顔面神經痛にて總督府醫院に入院したるが全治退院までには約三週間を要すべしと

口支那苦力

浦鹽出稼の時期

‖昨年春から京元線を利用す‖

春が來ると共に支那の苦力が動き出した、現に十一日は芝罘から仁川に上陸した山東の苦力が三百三十名の一團隊で鐵路元山に向ひ元山からは又た朝郵汽船の忠清丸と臨時船昌平丸とで浦鹽に向つた、出稼苦力の動き出すのは正にこれからである

◆苦力の本場　支那山東省は年々數十萬人の勞働者を出す、現に芝罘から大連に渡つた人數のみでも年に約十萬人、また浦鹽行きが三四萬人だからこれを芝罘から營口に行くもの乃至上海、香港、汕頭、廈門、新嘉坡を始め蘭領南洋諸島へ渡る者をも數へたならば、蓋し莫大な人員となろう、淺黄色の支那服を纏うた彼等苦力は

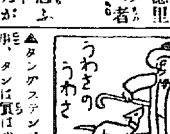
◆全く渡り鳥　のやうな生活を送る、毎年沿海州の秋をベーリング海から嵐が肌寒くなると彼等は還る、北滿洲に蒙古嵐が黴をさそふ頃には必ず歸る、そして又大陸の野に雲雀が啼き出す頃に再び北へ出稼する、併し苦力の往來は寒い結氷期のある北國ばかりに限つた事では無い、彼等は常夏の爪哇、スマトラからも冬になると歸る、思ふに苦力が一枚の木綿服に

◆一個の網袋　を背負つたまゝ懷中には數十金乃至數百金を虎の子のやうにして歸るのは彼等の懷かしい郷里で樂しい陰暦のお正月を迎へる爲めであらう、されば此の如き支那苦力の往來は各汽船會社にとつては此上もなきお得意樣で且つ又世界無比の温和しい世話の要らないお客樣である、今年のやうに航運界の繁昌する時には

◆餘り競爭者　もないやうだが毎年芝罘浦鹽間の苦力輸送は各汽船會社の激烈なる競爭が試みられたものである、昨今は二千噸級の龍佑丸が此の間の直航をやつて居るが海中は一食の飯をも振舞つて居ない温和しく且つ勘定高い支那人は僅かに一片の堅パンを噛りながら平氣で濟して居る、此の點になると全く支那苦力ほど世話の要らない旅客は世界に

◆先づ類が無　からうと思ふ併し一昨年の冬からは山東の苦力が京元線により陸路朝鮮半島を横斷することを知つて來た、それに元山、城津、清津からは朝鮮人の出稼人も尠くないが彼等は一年二回の旅行をするので全くありがたい旅客であるそれにまた支那苦力は決して自分直接に

◆汽船の切符　を買はない、彼等は何處でも土地の客棧に泊り込み此處から切符を買つて貰ふ、客棧はまた汽船會社に對し免票を請求して二三割分の無賃切符を貰つて居るその代り芝罘あたりの大きな客棧になると汽船會社は其信用によつて運賃後拂で客を運ぶこともある（朝郵役員時永木談）



此頃は何處でも宴會でも二三人集りさへすれば必ずタングステンの話が出る、そのタングステンの由來を物識先生といふ人が投書した▲タングステンといふは瑞典語で重い石といふ事、タンは重はツンで、船の噸數などのトンと同系の語、ステンは英語のストーンと同一語源を有する語である▲黒いタングステンをヴォルフラムといふ獨逸語で「狼の涎」といふ事、昔坑夫が山の中で人を騷がすタングステンを狼の涎の如き獰猛な奴であらう▲白いタングステンをシーライトといふがこれはタングステンを發見した瑞典の學者カール、ウイルヘルム、シエーレといふ人の記念の爲に名けたのである▲シエーレ先生は今から百三十年も前にタングステンを發見した▲また先生はリスリンの發見者である、化粧水にはリスリンが入らぬのは一つも無いといふ事だから天下の美人は先にシエーレ先生に感謝する義務がある。併しダイナマイトなどもリスリンの從兄弟同士と聞けば少々氣味惡くもある▲朝鮮の山の中は今タングステンと狼涎と化粧の者とダイナマイトで大騷ぎ、地下のシエーレ先生に見せたら嘸驚かれる事であらう。

▲タングステン及び金銀

看護婦生徒募集　願書提出期日 大正五年四月二十日　試驗 同月二十九日　詳細は當院に照會アレ　朝鮮總督府指定 看護婦養成所　龍山鐵道病院

滿蒙處分論　定價金一圓　京城日報代理部 振替貯金京城三二〇〇

京日內案

▼普通（一回前金三十錢無割引）

大阪澁大夫稽古本只今全部荷捌　京城本町二丁目　ウツボヤ書店 86

店員入用　十七歳より二十二三歳迄市内に保證人を要す本人來店あれ　龍山鐵道構內 田口商店 91

▲店員入用　二十歳未滿の人一名入用本人來談　京城旭町 川西食料店 92

◎古本ならば野村　買入諸雜誌御報參上　京城本町一丁目（明治町角）電話二六三六番 野村書店 16上

◎古本買入▲▲地方送金▲御報參上　京城本二 電話八六五 森田文光堂書店 17

▼番外（一回前金六十錢無割引）

婦女家庭內職　簡易上品　輸出品編物です希望者へは材料無料貸與す初心者にても相當收入あり　京城堅志洞電話九四五 編物傳習所 202,203

外勤社員採用　但經驗ある者希望者は履歷書携帶來談　京城南大門通二丁目 大同生命保險會社京城出張所

看護婦募集　見習看護婦 年齡十八歲以上市內確實要保證人希望者履歷書携帶本人來談を乞ふ　京城壽町 嶋崎病院 99

▼讓店アリ▲　各種商業に好適の店舖陳列戸棚及造作付裏庭に完全なる倉庫専用水道設備あり　黄金町二 71

カナアミ入タイヤ　實用向經濟を重ずる方は御試用あれ　京城南大門驛前 銃砲自轉車諸機械 房崎工場 481

萬年筆修理應需　各種萬年筆の修理は往復端書にて照會　地方よりの修理は見積差上候　京城若草町一六四 秋田屋地方部 13

內科 兒科　胃腸呼吸器病專門（入院隨意）　京城本町二丁目元中島病院跡 山田醫院 電話二八八〇番 23

好職　男女誰でも出來る美術ゴム事業老幼に適す志望者は製品見本又は郵券十錢送れ案内書及製品見本急送呈す　京城太平通二大漢門前 太陽ゴム商會 32 37

◎測量製圖　京城旭町一丁目 電話一〇七八番 山田

▲特製 草餅 賣出し　京城本町一丁目電話二三四三　▲製藥 博士　本城屋 70

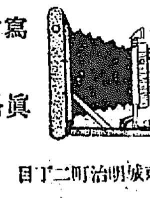
▲龍山むしぶろ　▲子宮▲おかつけ▲りよまち▲婦人ひえしよう▲是非一度御試しあれ　72

子供入用　年齡十二三歲以上十五六歲迄にて小學卒業程度の者市内に確實なる保證人を要す但內地人に限る　京城本町一丁目 ますや呉服店 204

小兒の眼病　十歳以下の小兒の眼病には特に研究せられたる小兒用大學目藥を御用ゐあれ　各藥店にあり

齒科開業廣告　私儀永らく仁川病院齒科部に勤務致居候處今般左記の所に開業し四月十四日より專ら齒科診療に從事す　仁川山手町六門通　東京齒科醫學士 飯塚喜四郎 電話三五〇番

信用ある 東京三金の特賣　ボックス製長靴　長サ一尺三寸 金四圓八拾錢　一尺五寸 金五圓五拾錢
ボックス革製編上　第一號 金弐圓五拾錢　第二號 金參圓五拾錢　第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製鏈型　第一號 金弐圓五拾錢　第二號 金參圓五拾錢　第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム　第一號 金弐圓九拾錢　第二號 金參圓九拾錢　第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般紳士靴として好適なり　▽御注文の節は種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包（送料實費）にて送附す　最新目錄無代進呈　東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九〇 振替東京一七三



寫眞機 寫眞材料　京城明治町二丁目 長崎屋商店 電話二一二〇番

千生瓢 (182)

須藤南翠作 筒井年峰畫

犬山城 (九)

犬山の城内に在つては、城代中川勘右衛門尉定之の横死の報が傳はつてから、孰れも信偶の境に彷徨して挨拶〳〵の番にも、自から心が乗らぬ體であつた。今羽柴方と合戦に及ばうといふ矢先に、新に城将を亡ひ、まだ後役を差向けられぬうちに、敵若し襲ひ來る事あらば、誰を力に粉骨を盡さうと、只我身の役ばかり見らるゝ折から、十四日の亥の刻過ぎ、思ひも寄らぬ城内三の丸の方に當つて、不意に鬨の聲を聞いたので、城中寝耳に水の駭きに打たれて、雎度を失つて立ち騒ぐばかりであつた。

紀伊守之助は、勇氣日來に十倍して、自ら眞先に進みながら、喚き叫んで切り込んだ。其鋒先の鋭きことゝ野火の草を焼く勢ひであつたので、城兵は益々狼狽し、敵を防ぐ心得も忘れ、只顧妻子を落さんとして、右往左往に走り廻れば、池田勢は得たりと附け入り、狼狽く者をば斬り捨てにし、立向ふ者は組み伏せて首を掻き、恰も群羊を驅る光景であつた。

入道清藏主此體を見て、城兵を固く戒め、「やよ方々、此城の預りは勘右衛門尉一人ではおざらぬ。各々も北畠殿より物頭を承はり、即ち此城に籠め置かるゝ身分ではおざらぬか。斯く右衛門尉が不慮の死とても、正しく亡骸を見ぬうちは、其事は一定致さぬ。今宵夜討の所體、敵に深い謀慮あつて、豫て謀つて勘右衛門が横死の飛語を放ち、城内の人心を惑亂させて、不意を討たんず計略と思はるゝぞ。各々には聞れずや、遠州濱松の徳川殿、はや清洲城に馬を前められたと申すに、夜明まで踏み堪へなば、援兵は必定おざるわ。周章て不覺を取らるゝな」と、聲を限りに呼はり呼はり、八方に駈け廻つて指揮をした。

此れにて城兵も氣を取り直し、持場〳〵を持ち固めて、要を専途と防戦し、暫らく池田勢を喰ひ留めたのであつた。

紀伊守之助、敵に戦意の出たのを見るや、日置三藏を呼出して、『三之丸は難なく攻め破つたが、二之丸の固め殊の外堅固に見ゆるぞ。今一應地下人共を動かせよ。夜のうちに落さずば、此の小勢にては難義であらうぞ』と言ふ。『さん候ふ、地下人共に申し付けて櫓一つ焼かする手順おざる。さらば疾く急がし申すでおざらう』

三藏が斯う對へて、膝を起さうとする時に、角櫓に火勢發して、忽ち炎々と燃え上つた。池田勢は之に氣を得て、『敵に内應の者あるぞ。城はいや我が物なるわ。攻めよ、揉めよ』と聲々に呼はつて、一度にどつと揉み立てた。

聞もなく二の城戸は攻め破られて、潮の如く闖入る池田勢に、太刀風鋭く切り立てられ、犬山勢は詮なに討ちなされて、或ひは落ち、或ひは降り、既に本丸も乗り超されて、清藏主が只一人、心を配り氣を勵して、死身になつての働きも、其効更にあらずして、今は總崩れの悲運に陥つた。

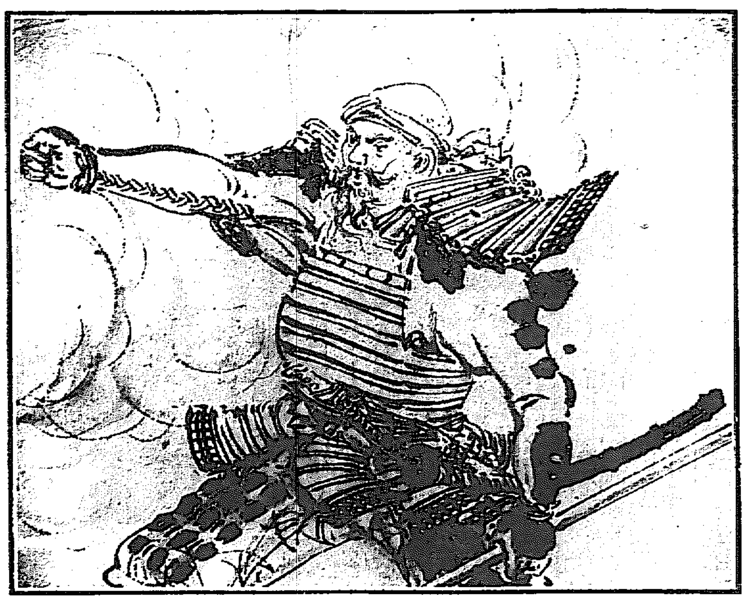
此時大手の方よりも、信輝入道勝入斎、伊木清兵衛、荒尾四郎右衛門以下を引率れ、眞一文字に攻め入つたので、清藏主も力屈し氣挫け、今ははや是までと思ひ極めて、亂軍の中へ斬つて入り、片桐半左衛門と渡り合つて、天晴目覺しく働きながら、終に討死を遂げたのである。

清藏主の討たれた後は、誰立ち向ふ者もなく、無人の城に入る如く、犬山城は全く池田の手に落ちて、遂に清洲城と相對するに至つた。

此間僅に一時とは出なかつたが、唯感ずべきは清藏主である。其身世を遁れながらも、婿に誓ふた一諾を重じて、兎も角も敵を防ぎ、身死するまで城を渡さなかつたのは、天晴の勇士と謂つべきである。著した鎧の引合せに

身は西に行くべき者の何なれば
ひかしと心定めたりけん

と一首の辭世を留めてあつた。行年五十八。勝入斎父子もあはれと袖を濡したのであつた。



随鴎吟社七言絶句聯句(四月九日於盤溪香山樓)

清溪春遍聽啼鶯 石吟葉園
一路靈泉解宿醒 三谷耕雲
壁上誰題流麗句 飯山柴峰
墨香花影透窓櫺 小村翠林
疎竹繁松各自青 香山樓
川村北山 一般春色在閒庭 岡川松東
香山樓上圖屏座 大井盤川
圖轉鶯聲側耳聽 雨滄
朧霞氣罩樓春欲 蕭谷村映雪
東臺山下會吟朋 萩原緑江
情懐何讓永和載 守谷碧江
冉冉篆香甑上凝 栗川碧嶺
來尋香山第一樓 大崎六華
春風醞醸紫霞流 津川滄虹
韻林匝砸鶯聲滑 富安霞江
花半開時酒拂愁 土房香岡
香山樓在觀山陰 阪井南洋
春入養花天氣深 岩秀雲川
似雨似晴鶯語幽 上村寶尉
撰人詩思坐聽禁 荒浪烟匡
柳眼放青春未酣 大瀬鐵石
櫻花消息此中探 岡村梅軒
出林一杵鐘聲遠 山口松陵
搖曳香雲鶯谷南 淡浦西榭
東台咫尺翠穿簾 谷本櫻谷
萬朶櫻雲春色添 杉田錦山
仰見飛機輕似燕 阪月桂
差池影掠玉峰尖 鶚島仙城
花滿鶯溪春不凡 岩藤一鶚
詩情潑渤酒潑衫 淵川禮軒
名人酌酎侍雛豚 花井柳堂
隔水空聞弄阮咸 関見鍛江

オンドル會詠草 (二)

平壌 雪

潮鳴りて暗き夜を雪に閉す家 鴨原
雪霽れて宵月に庭を掃く隣 同
柿の木に捨臼の据り溜る雪 同
林檎の枯葉三つ残る雪頂き 同
刈りつくす棟山の雪斑に晴る 同
雪の宵風立ちて門の鈴鳴る 同
部屋一杯に旭射す雪晴の朝 同
水道栓その雪を掃きのけぬ 同
雪の夜話す支那人が門語り過ぐ 同

鴨

兵を練る草原や鴨の高き聲 山坡
例會の不振を鴨の高嘯ける 同
鴨の遠音に來て我家灯しけり よし子
大江の漣に鴨縺れ居る 淨
鴨落ちし川尻の土手を這ふ薄日 鴨樓
干潟に船の傾ける鴨鳴ける 同 原

新刊紹介

▲家庭の醫學(創刊號) 生活難を救濟する可能性は一方に於て各種の醫藥に要する費用を節約するにあり……(大阪市東區南新町一の一〇七 大日本醫藥協會)

▲京城商業會議所月報(三月號) 京城商業會議所

▲朝鮮農會報(十一の四) 今年の稲作に關し……

▲中等教育國民修養講義錄(創刊號) ……(東京市本郷區眞砂町二五 國民修養學會)

▲スネーク(四月號) 詩歌小説のみを主とする新抜詩人の月刊雜誌にして……(東京市小石川區……)

▲通俗家庭衛生新報(二三の一七〇) 東京市日本橋區……

●早稻田中學『商業講義盛況』 早稻田中學は内容を刷新し大隈伯より賜與する奬學メダル其他十大特典をも提供し既にその第一號を發行したるが、新學年入學の申込者三萬に達し近年に稀なる好況なりと……

読者の領分

▲僕はあの日大切な夕方豆腐賣を休んで吉野先生の講演を聽きに往きましたが仲々面白く拜聽して誠に有益でありました(豆腐賣子)▲僕は一青年に同情します名前を發表せられよ(又の一青年)▲兄さん私彼方と事務所内でも共稼させて頂けませんか是非さうして下さい經濟的でたいへん仕合せします(林子)▲僕は京城に一大倶ですもの(林子)▲僕は京城に一大公會堂の急設を切に感じた見よ三千人位の人を自由に入れる大建築が何處にあるか(一官吏)▲貴社の善々諸者を希望す(一官吏)▲貴社主催であつた吉野博士の演説の時など僕は二時間以外に立ちつゞけて聽た速に公會堂の設立を希望す▲貴社が斯る名士の講演會を催して居る處だが此後とも常に感謝して居る▲飛山では新兵の大歡迎會をやる相な京城も一所になつてやつたら可からう(在郷軍人)(讀者總代)

月やく 月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい。其他たなく通經する良法速に御知らせ致します 東京神田錦町三ノ一九 後川けい子

わきが 最新靈藥 本劑(方名腋臭必治劑)は最近發見の特効藥物を主劑とし百方苦心研鑚の結果完成せるものにして腋臭の病原たる汗腺に作用して不思議にも其病根を除去し永久に腋臭を全治せしむ……

腋臭の苦惱

日新舘製劑部

進呈 此品無代 時間正確 本紙に掲載せし如く歐洲戰亂の爲め舶來品は一般に大暴騰を告げ當店は之に際し大阪市西區堀江御池通六丁目長尾商店呉服部……

賛化病院 京城本町二丁目 電話二四番 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏

製材機械原動機 其他一切付丸鋸共 賃貸又は割安賣却 鑛山機械専門製作 南大門通五丁目電話一〇四番 中根商會

恐しい悪魔の誘惑

新式化粧の婦人にばかりは手出しが出來ぬ

婦人美容法研究會にて すま子

不良少年の元兇で白鞘組の團長某が先頃捕はれの身となつて自白した言葉の端々から思ひ浮むだまゝ皆様へ御注意申します

『五分五分の罪』

誘惑されるも誘惑するも双方五分五分の罪であると言て居る。なぜなれば誘惑されるやうな意志の薄弱な婦人があればこそ、其の弱点に咒咀む惡漢も現はれるのであるから、世間の御婦人は餘程注意を要する事であらうと思ひます。扨て、最も誘惑に罹り易いのは、我儘育ちの娘さん、素人にして藝者や女優の如な女人にかぶれいる婦人。

『じやら〳〵した舊式化粧を好む婦人』

に一番多く、又之れと反對に最も誘惑を避けるに効めのあるのは、高潔なお化粧法、氣品の高い、神々しいお化粧法、早く言へば、美しさが豐的に見ゆる近眼味なく、氣障で無く、奥床しく、自然そのまゝの色白さより外見ゆぬ新式化粧法を始終行はれる婦人で、其の辭

『其の美しさ』

は到底前の『じやら〳〵した舊式化粧』を好む婦人と同日論で無い上に、總じて一見魂飛ぶの美しさが備つて居ても、野卑な、淫猥な点が無く、厭らしい、じやら〳〵した、濃厚い点が少しも見付らぬから、如何な惡漢にも誘惑を試る間隙が與へられず、高潔な其の美しさに心を奪はれてしまふのです。言はば良心の反省に身の自由を失つてしまひ、結局手出しが出來なくなるのです。其處で

『誘惑を避ける・新式化粧』

とは怎うすれば宜しいのか。不自然で無く、厭味なく、氣障で無く、野卑で無く、淫猥で無い新式化粧とは怎うすればよいのであるか?是れに就て日本では勿論、歐米の美顔術界でも望みを屬されて居る巴里美顔術の本家本元、佛國女流美顔術大家日比谷巴里院院長の

『マリー、ルシキズ孃』

は、日本に來れて以來、男女交際の進むだ外國でも見る事の出來ぬまで本邦青年男女の風紀の廢頽れた事を憂ひ『美容』と云ふ變つた面白い方面から、何とかして之れを救はうと數年以來お心を碎かれました結果、愛に痛くも以上の理に適つた新式化粧に恐惡しいお化粧法のあるを發見せられました。

それは最近桃谷研究試驗部こいふ

『本邦唯一の化粧品研究所』

に於て、丹波・山本の二博士、主任挑谷藥學士以下多數の學者達が、之れ迄誤られた舊式化粧の爲めに煩悶する婦人諸子の味方となり、眞の同情者となつて研究苦心せられた結果、發明せられた美顔ユーマーを化粧法に應用することです。

美顔ユーマーと云へば皆様も既に御承知の垢ヌケして美しくなると大變きゝめがあると云つて此頃評判になつてゐる色の純白な美しい液であります。此美顔ユーマーを御化粧下や白粉のトキ水に使へば白粉に自然らしき美しいツヤをそへて、塗けた顔が白粉の化粧とは見へず

『生れつきの色白』

と見ゆる上に、如何にも無理で無い、自然そのまゝのお化粧が出來、如何な肌の人にもハイハリが注文通りに行つて奥床しく、氣品が高く、何とも言へぬ美しさが現はれるものです。現に妾の知つて居る女優

『女藝人達の中でも』

お化粧が拙くあつた爲め、兎もすると從來は世間から根も無い風説を立てられ、其の辭自分は女の道を堅く守つて居るのに兎角色んな惱い浮名を立てられ、全く困つて居られたやうですが、一度妾が巴里院を紹介しマリー先生から一同美顔ユーマーの新式化粧を教はるやうになつてから、そんな噂はピッタリ止み、今日では藝名ばかりか世間に有名くなつて皆々滿足に思つて居られ、之れも偏へに美顔ユーマーの賜物こ深く感謝して居られます。其れこれこは別物ですが、現に

『各宮家始め華族・紳商』

の方々に於せられましても國產獎勵の思召しもあり、旁々マリーさんからお聞き傳へになつて近頃は皆様か美顔ユーマーをお召しになるさうです。妾ですか、エ・・・く、妾はモウ最初から美顔ユーマーの愛用者よ。・・・・・・道理で美しくなりましたつて?・・・・・・アラマア厭やですよ。

2576.53

各新著アンクル式片側懐中時計 時間正確 實用的にして價格の低廉なる天下無比

イングレッシー商會 本店 京城本町二丁目電話九七二番 時計、蓄音器、自轉車、洋酒、各國雜貨、ミシン機械直輸入商

金泉醴泉間自動車發著時間表 上り 金泉發 前八時 醴泉着 …… 下り 醴泉發 …… 金泉着 ……

金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

次女經子葬送の際は遠路態々御會葬被下難有奉存候 混雜中御尊名伺洩も有之不取敢以紙上御禮申上候 四月十三日 父 馬場卯之助 親族友人一同

日本郵船仁川出帆 〇大連、太沽、牛莊行 三河丸 四月廿二日 正午出帆 相模丸 五月五日 正午出帆 高砂丸 五月十一日 正午出帆 仁川海岸町一丁目 堀回漕部 電話十一番

大阪商船仁川出帆 〇外國航路(遠洋航路を除く)の發航日時は五分前を以て通話切符發賣仕候
〇群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 安東丸 四月十五日 須摩丸 四月十七日 天智丸 四月二十日 午後五時出帆
×〇木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 四月廿三日 信濃川丸 五月十一日 後二時出
〇鎮南浦、大連行 信濃川丸 四月十八日 信濃川丸 五月六日 後二時出
〇木浦、大阪直航 宮島丸 四月十七日 後五時出
〇大連直行 潮州丸 四月十八日 福州丸 四月廿七日 正午出帆
〇群山、釜山、横濱行 潮州丸 四月廿二日 福州丸 五月二日 午後二時出帆
〇清津、浦潮行(元山出帆) 印八城津、西湖津ニ寄港 宮島丸 四月廿九日 平安丸 四月十五日 午後二時出帆 浦潮不寄港
〇上海、基隆、打狗行(大連出帆) 城津丸 四月廿三日 湖北丸 五月四日 前十時出
御注意 〇群山鎮南浦仁川安東縣及南滿洲鐵道會社との聯絡運送 〇×印は一等客御斷り △印は貨客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番 京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番

共同汽船仁川出帆 (第一共同丸)芝罘、大連行 四月十四日 正午出帆
第一阪鶴丸 城津、清津、浦潮行(元山出帆) 月 日 後九時
西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 仁川代理店 堀回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船 本社 京城南大門通 電話二九五二番 京城取次所 松原運送店
〇京城、全羅丸 五月一日 成鏡丸 四月十六日 貢城丸 四月廿六日 釜山行
穏城丸 四月十三日 昌平丸 四月廿一日 鏡城丸 四月十七日 元山行
忠清丸 四月廿八日 平壌丸 四月廿一日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
蒼徳丸 四月十八日 釜山行
江陵丸 毎日 (釜山浦項)行
三浦丸 四月十七日 釜山行
存州丸 巨済丸 釜山發
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 四月廿二日 木浦發
公州丸 四月十四日 木浦發
宗信丸 四月十九日 仁川發
江原丸 四月十七日 仁川發
麗水丸 四月廿一日 仁川發
晋州丸 四月十七日 仁川發
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸
平安丸 四月廿四日 群山發
復航門司 四月十八日 若松發

汽船釜山出帆廣告
〇門司、神戸、大阪行 神丸 四月 日後五時出帆
〇元山、清津、浦潮行 神丸 月 日後十時出帆
〇門司、神戸、大阪行 倉丸 月 日後五時出帆
〇元山、城津、浦潮行 倉丸 四月廿六日 後十時出帆
〇元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
〇門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 四月 日後六時出帆
〇佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天兵丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆 〇群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大正丸 四月廿四日 後四時出帆 大有丸 四月十九日 後四時出帆 神代丸 月 日後四時出帆 蛟龍丸 月 日後四時出帆 君が代丸 月 日後四時出帆 仁川海岸通二丁目 電話五九二番 高杉回漕部

商況

大阪株式特電

▲後場小變動

▲現物界

十三日の大阪 ……

十三日の大阪 ……